

令和2年度

男女共同参画に関する年次報告書

福知山市

目 次

令和2年度 事業体系図	1
令和2年度 事業概要	4
令和2年度 男女共同参画推進にかかる事業調査結果	26

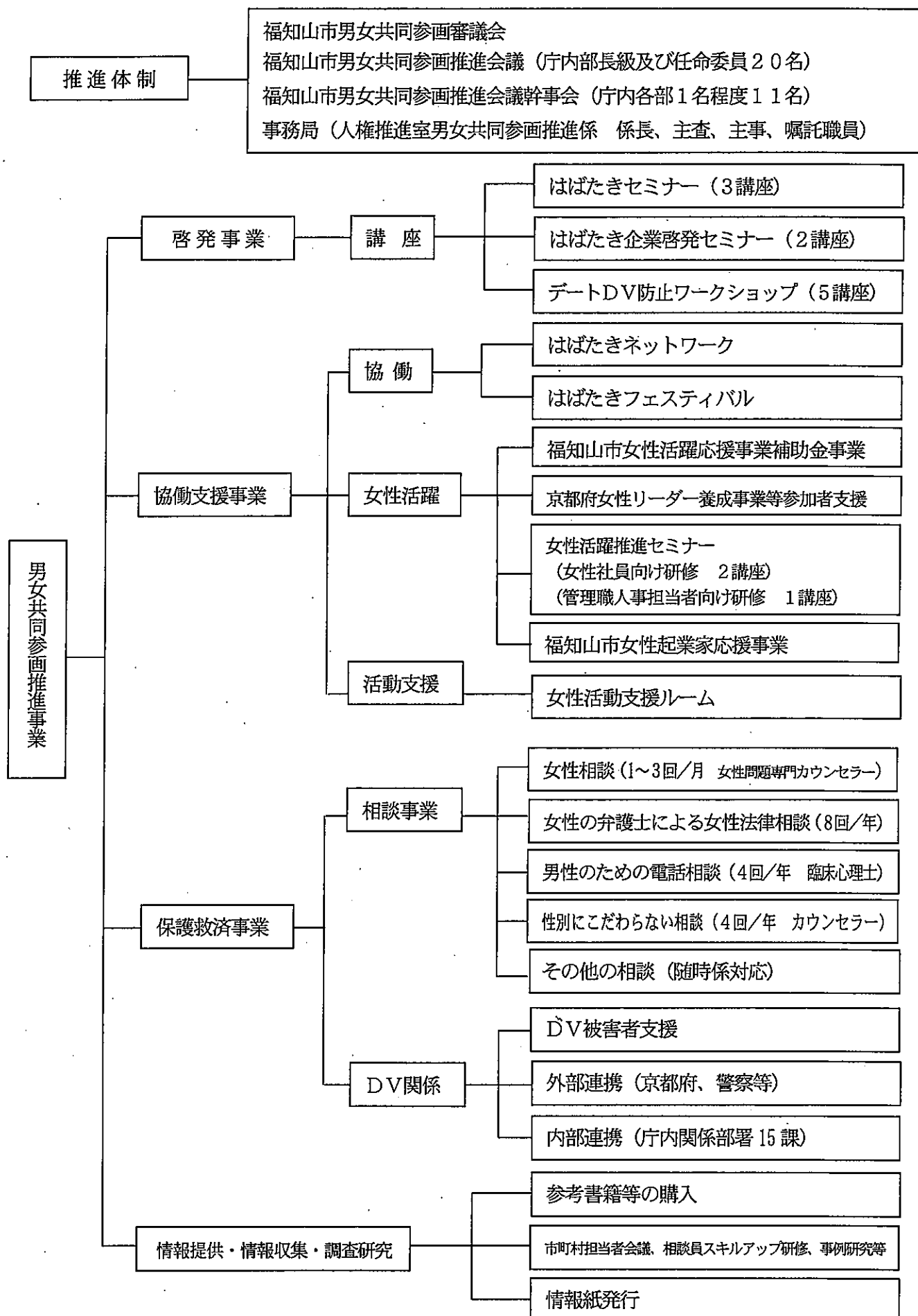
資料

審議会等への女性の参画状況調査表	37
重要項目の数値目標に対する実績	41
福知山市男女共同参画推進条例	42
情報紙・啓発資料	44

年次報告書について

年次報告書は、「福知山市男女共同参画推進条例」（平成18年10月施行）第14条に基づく年次報告として、本市の男女共同参画の推進に関する施策の実施状況や進捗状況を示し、市民のみなさまに取組の状況を明らかにするものです。

男女共同参画推進事業体系図(令和2年度)



**令和2年度男女共同参画審議会
(令和2年11月委員改選)**

男女共同参画審議会 (全5回、内1回は中止)		
1	日 時	令和2年6月29日(月) 午後7時～9時
	場 所	男女共同参画センター 女性活動支援ルーム 6人
	内 容	① 令和元年度事業報告について ② 令和2年度事業計画について ③ 男女共同参画推進会議幹事会の取組について ④ 第4次福知山市男女共同参画計画の策定について
2	日 時	令和2年10月27日(火) 午後7時～9時
	場 所	男女共同参画センター 女性活動支援ルーム 6人
	内 容	①第4次福知山市男女共同参画計画にかかる答申について
3	日 時	令和2年12月15日(火) 午後1時30分～3時
	場 所	男女共同参画センター 会議室1 9人
	内 容	①委員委嘱状の交付 ②正副会長選出 ③福知山市の男女共同参画施策について
4	日 時	令和3年2月1日(月) 午後7時～9時
	場 所	男女共同参画センター 女性活動支援ルーム
	内 容	①第4次福知山市男女共同参画計画最終案について
5	日 時	令和3年3月25日(木) 午後7時～9時
	場 所	男女共同参画センター 女性活動支援ルーム 8人
	内 容	①第4次福知山市男女共同参画計画最終案についての報告

令和2年度男女共同参画推進会議

男女共同参画推進会議 (全4回、内1回は中止)		
1	日 時	令和2年6月16日(火) 午前9時～10時30分
	場 所	男女共同参画センター 会議室1 18人
	内 容	① 男女共同参画推進会議幹事会の取組について ② 男女共同参画推進会議幹事会委員の任命について ③ 令和元年度事業報告について ④ 令和2年度事業計画について
2	日 時	令和2年11月5日(木) 午前9時～10時30分
	場 所	男女共同参画センター 会議室1 18人
	内 容	① 第4次福知山市男女共同参画計画の策定について ② 男女共同参画推進会議幹事会の取組について

3	日 時	令和3年1月27日（水）午前10時30分
	場 所	男女共同参画センター 中止
	内 容	①第4次福知山市男女共同参画計画の内容にかかるパブリックコメントの実施について
4	日 時	令和3年2月24日（水）午前9時30分～11時
	場 所	男女共同参画センター 会議室1 18人
	内 容	①令和2年度男女共同参画推進会議幹事会の活動報告について ②幹事会における今後の活用について

令和2年度男女共同参画推進会議幹事会

男女共同参画推進会議幹事会（全8回）		
1	日 時	令和2年6月18日（木）午前10時～11時30分
	場 所	男女共同参画センター 女性活動支援ルーム 10人
	内 容	① 令和元年度男女共同参画の取組について ② 令和2年度男女共同参画推進会議幹事会の取組について
2	日 時	令和2年7月16日（木）午前10時～11時30分
	場 所	男女共同参画センター 会議室2 10人
	内 容	第3次福知山市男女共同参画計画はばたきプラン2011後期計画推進のための取組
3	日 時	令和2年8月11日（火）午前10時～11時30分
	場 所	男女共同参画センター 会議室2 9人
	内 容	第3次福知山市男女共同参画計画はばたきプラン2011後期計画推進のための取組
4	日 時	令和2年9月16日（水）午前10時～11時30分
	場 所	男女共同参画センター 会議室1 11人
	内 容	第3次福知山市男女共同参画計画はばたきプラン2011後期計画推進のための取組
5	日 時	令和2年10月14日（水）午前10時～11時30分
	場 所	男女共同参画センター 会議室1 9人
	内 容	第4次福知山市男女共同参画計画素案の検討について
6	日 時	令和2年11月11日（水）午前10時～11時30分
	場 所	男女共同参画センター 女性活動支援ルーム 11人
	内 容	第3次福知山市男女共同参画計画はばたきプラン2011後期計画推進のための取組
7	日 時	令和2年12月15日（火）午前10時～11時30分
	場 所	男女共同参画センター 会議室2 8人
	内 容	第3次福知山市男女共同参画計画はばたきプラン2011後期計画推進のための取組
8	日 時	令和3年1月12日（火）午前10時～11時30分
	場 所	男女共同参画センター 会議室2 11人
	内 容	第3次福知山市男女共同参画計画はばたきプラン2011後期計画推進のための取組
主な活動		<ul style="list-style-type: none"> ・女性の管理職登用が進んでいない現状と原因について市内企業を対象としたアンケートにより分析。「福知山市版えるぼし」として独自の女性活躍推進の評価指標を提案。 ・市民一人ひとりがDVについて理解を深め、被害者自身がDV被害に気づく・相談窓口を知ることができるよう、DV防止・啓発パンフレットを作成。

令和2年度男女共同参画推進事業概要

1 啓発事業

【啓発】

事業名	男女がともに考える「はばたきセミナー」(全3講座、第1講座は新型コロナの影響により中止)	
事業概要	「はばたきプラン2011後期計画」推進事業の一環として、幅広い市民の男女共同参画のための学習の場として、男女共同参画センター等でのセミナーを開催。	
第1講座	開催日	
	会場	
	テーマ	中止
	講師	
	参加者	
	備考	
第2講座	開催日	令和2年8月22日(土) 午後1時30分～3時
	会場	市民ホール
	テーマ	簡単!時短!家事ラク宣言!～ダン家事ってなんだろう～
	講師	三木 智有さん(NPO法人 tadaima!代表理事)
	参加者	71人
	備考	
第3講座	開催日	令和2年11月13日(金) 午後1時30分～3時
	会場	市民ホール
	テーマ	家族の中のDVや児童虐待～その背景と予防～
	講師	和田 のりあきさん(マジックパパ代表)
	参加者	69人
	備考	共催: 福知山市要保護児童対策地域協議会
成果課題	全2回の講座を開催。「男性の家事育児への参加」「DV・児童虐待」について講座を開催し、第2講座については男性に参加をしてもらうため、土曜日の開催とした。 今後も幅広い世代への啓発となるよう、より身近なテーマで継続した啓発を行っていく。	

事業名	はばたき企業啓発セミナー（全2講座、第2講座は新型コロナの影響により中止）	
事業概要	「はばたきプラン2011後期計画」推進事業の一環として、市内企業及び事業所を対象としたセミナーを実施。	
第1講座	開催日	令和2年9月24日（木）午後2時～3時
	会場	男女共同参画センター 会議室1
	テーマ	時は来た！ピンチをチャンスに変える働き方改革～いい会社とはどんな会社？～
	講師	徳平 勝正さん（社会保険労務士事務所 OFFICE 徳平代表）
	対象者	市内企業及び事業所人事担当者、市民
	参加者	40人
	備考	共催：福知山市企業人権教育推進協議会
第2講座	開催日	
	会場	
	テーマ	
	講師	
	対象者	
	参加者	
	備考	
成果課題	企業の研修担当者や人事担当者を対象に啓発した。コロナ対策として講演時間を1時間に短縮して行ったが、満足度が高く、「講演時間が短かった」との意見もあった。今後も継続して広く呼びかけ啓発していく必要がある。	

事業名	デートDV防止ワークショップ	
事業概要	「はばたきプラン2011後期計画」推進事業の一環として、市内中学校及び高校を対象としたデートDV防止ワークショップを実施。	
第1講座	開催日	令和2年12月4日（金）午前9時40分～10時35分
	会場	福知山高等学校三和分校
	テーマ	デートDV防止
	講師	人権学習サークルWITH YOU
	対象者	福知山高等学校三和分校3年生
	参加者	19人
第2講座	開催日	令和3年1月22日（金）午後1時5分～2時45分
	会場	福知山成美高等学校
	テーマ	デートDV防止
	講師	人権学習サークルWITH YOU
	対象者	福知山成美高等学校1年生（4クラス）
	参加者	116人

第3講座	開催日	令和3年1月29日（金）午後1時5分～2時45分
	会 場	福知山成美高等学校
	テーマ	デートDV防止
	講 師	人権学習サークルWITH YOU
	対象者	福知山成美高等学校1年生（4クラス）
	参加者	144人
第4講座	開催日	令和3年2月5日（金）午後2時～2時45分
	会 場	福知山成美高等学校
	テーマ	デートDV防止
	講 師	人権学習サークルWITH YOU
	対象者	福知山成美高等学校1年生（2クラス）
	参加者	55人
第5講座	開催日	令和3年2月12日（金）午前9時55分～10時40分
	会 場	大江高等学校
	テーマ	デートDV防止
	講 師	人権学習サークルWITH YOU
	対象者	大江高等学校1年生
	参加者	26人
成 果 課 題	<p>市民活動団体と協働し、若年層へのデートDV防止啓発として、市内高校生を対象としたワークショップ形式による学習機会を提供できた。新型コロナウイルス感染症対策により、グループでのワークショップができず個人ワークとなったが、受講した生徒の理解としては、しっかりと問題を受け止めてデートDVについて考える機会となっている。今年度は中学校での実施は出来なかったため、来年度は実施したい。今後も各学校と連携し、教職員も含めて継続した啓発を行っていく。</p>	

【協働】

事業名	第23回はばたきフェスティバル（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）	
事業概要	「第23回はばたきフェスティバル」を開催。実行委員会による企画、運営を行い、男女共同参画社会の実現に向けて参加者相互の交流を図る。	
実施内容	開催日	令和3年2月21日（日）
	会場	福知山市民ホール
	テーマ	ともに尊重、ともに参加～ひろげよう男女共同参画の輪～
	講演会	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>時 間：午後1時～午後3時 場 所：福知山市民ホール 対象者：市民 ○オープニング お気楽亭おけらさんによる落語 ○講演 たち上がれ！男！女！私！！～“〇〇らしさ”より「自分らしさ」～ 講師 中村 彰さん（NPO 法人 SEAN 理事）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-left: 10px; text-align: center;">中止</div> </div>
	イベント	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止。
	展 示	<p>はばたきフェスティバル実行委員団体活動紹介、男女共同参画かるた</p> <p>期間：令和3年1月28日（木）～3月22日（月）</p> <p>場所：男女共同参画センター、図書館中央館</p>
実行委員会	13団体、個人1名	

事業名	はばたきネットワーク会議	
事業概要	<p>男女共同参画社会の実現をめざし、市内の女性団体やグループ相互の交流・情報交換などの活動を広げるためのネットワークで、女性団体の連絡調整及び育成を行っている。</p> <p>（構成数：令和3年3月31日現在 13団体、個人1名）</p>	
第1回 会 議	日 時	令和2年6月17日（水） 午前9時30分～11時
	場 所	全議員協議会室（市庁舎5階）
	内 容	<p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告について ・令和2年度事業計画について
第2回 会 議	日 時	令和2年9月10日（木） 午前9時30分～11時
	場 所	男女共同参画センター 会議室1
	内 容	<p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はばたきネットワーク学習会について ・DV防止啓発について
第3回 会 議	日時	令和3年1月19日（水） 午前9時30分～10時30分
	場所	男女共同参画センター
	内容	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4次福知山市男女共同参画計画（素案）の説明 ・パブリックコメントの募集について </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-left: 10px; text-align: center;">中止</div> </div>

第4回 会 議	日時	令和3年2月25日（木） 午前9時30分～11時
	場所	男女共同参画センター 会議室1
	内容	・令和2年度のふりかえりについて ・来年度に向けての検討
第1回 学習会	日 時	令和2年7月8日（水） 午後1時30分～3時
	場 所	福知山市民ホール
	テーマ	DV被害の現状を知る・考える～私たちにできることは何か～
	講 師	福岡 ともみさん（(株) ウィメンズカウンセリング京都）
	参加者	63人
第2回 学習会	日 時	令和2年12月11日（金） 午後1時30分～2時45分
	場 所	福知山市民ホール
	テーマ	選択的夫婦別姓について（入門）～取材経験・新聞記事から～
	講 師	野口 由紀さん（毎日新聞社大阪本社 社会部兼化学環境部記者）
	参加者	32人
DV防止 展示	期 間	令和2年11月9日（月）～11月30日（月）
	場 所	ハピネスふくちやま1階、男女共同参画センター、市庁舎1階ロビー、図書館中央館、大江支所、三和支所、夜久野支所、三和地域公民館、京都銀行福知山支店、京都北都信用金庫福知山中央支店、各地域公民館
	内 容	パープルリボンメッセージ、パープルリボンの木を展示し、DV防止の啓発を行った。
DV防止 街頭啓発	期 間	中止
	場 所	
	内 容	
成 果 課 題	ネットワーク独自事業として、学習会を2回実施した。年々増加傾向にあるDV被害について、被害者への理解を深める学習ができた。また、選択的夫婦別姓についての講座では、新聞記者の方を講師として招き、最高裁の判決内容の説明を受け、参加者の今後の学びに繋がる内容で実施できた。また、DV防止啓発のためのパープルリボンのほか、DV防止×児童虐待防止の啓発としてパープルとオレンジで「笑顔の花」を作成した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から街頭啓発は実施できなかったが、市とネットワークの協働により啓発内容を工夫し、啓発活動ができた。	

事 業 名	福知山市女性活躍応援事業補助金
事業概要	女性が地域においてその個性と能力を十分に発揮し、活躍することを推進するため、京都府と連携し、女性の活躍の推進を図る事業を行う福知山市内の民間団体における当該事業に係る経費について一部助成する。
補助対象 団 体	福知山市内において女性の活躍を推進するための事業を実施する民間団体のうち、京都府女性活躍応援事業補助金に採択された団体
補 助 率 （上 限）	京都府女性活躍応援事業補助金の補助対象経費のうち、自己負担部分の3分の2以内 10万円（上限）
交付実績	3件

事業名	京都府女性リーダー養成事業等参加者支援
内 容	
日 時	
場 所	
参加人数	

中止

事業名	女性活躍セミナー（①女性社員向け研修全2回、②管理職・人事担当者向け研修1回）	
事業概要	出産や子育て期をむかえた女性が就労を継続でき、キャリアアップをめざすことができる職場環境づくりのため、労働者と雇用者双方に対して意識改革の研修を実施し、市内企業における女性活躍の推進を図る。	
① 女性社員向け研修（全2回）		
会 場	男女共同参画センター 会議室1	
テーマ	わたしの素敵なキャリアの描きかた～探求！私にとっての働く価値～	
対象者	市内企業及び事業所等で働く女性社員	
講 師	井本 七瀬さん(キャリアコンサルタント)	
第1回	開催日	令和2年10月7日（水）午後1時～3時
	参加者数	14人
第2回	開催日	令和2年10月19日（月）午後1時～3時
	参加者数	10人
② 管理職・人事担当者向け研修（1回）		
第1回	開催日	令和2年12月4日（金）午後1時30分～3時
	会 場	男女共同参画センター 会議室1
	テーマ	経営戦略としての女性活躍推進～トップの本気が試されている！
	講 師	菅原 幸子さん（一般財団法人女性労働協会女性就業支援専門員）
	対象者	企業の経営者、管理職・人事担当者
	参加者数	7人
備 考	共催：女性就業支援全国展開事業	
成 果 課 題	市内企業における女性活躍推進に向けた啓発として、男女共同参画推進会議幹事会委員の参加もあり、研修を実施することができた。女性社員向け研修については、ワークショップ形式で参加者同士が交流し、大変好評であった。管理職・人事担当者研修は毎年参加者が減少しており、企業トップに参加を促すためには、講座内容や広報に工夫が必要である。今後も行政と経済団体等が連携し、労働者と雇用者双方の理解促進に向けた積極的な啓発に努める。	

事業名	女性起業家応援事業	
事業概要	地域に潜在する起業をめざす女性や創業間もない女性起業家を対象に、ワークショップや意見交流等を実施し、起業に必要なノウハウや事業継続に必要なヒントをつかむ機会を提供する。参加者自身のビジネスプランをより具体化することで、創業の可能性、持続性を確実なものにするとともに、創業意欲を高め、産業支援センターの起業相談へとつなげる。	
対象者	起業をめざす又は創業間もない女性	
第1回	開催日	令和2年11月27日（金）午後1時30分～3時
	会場	男女共同参画センター 会議室1
	テーマ	自分を信じてやってみたらいいんじゃない？～5万円で人生を変えた超ポジティブママ
	講師	仙田 忍さん（株式会社ルカコ 代表取締役）
	参加者数	13人
	備考	
第2回	開催日	令和2年12月9日（水）午後1時30分～3時15分
	会場	男女共同参画センター 会議室1
	テーマ	夢は続くよ、どこまでも～福知山ではじめたちっちゃな農家“小林ふぁ～む”
	講師	小林 加奈子さん（株式会社小林ふぁ～む 代表取締役）
	参加者数	10人
	備考	終了後、講師と参加者で座談会を実施。（参加者5名）
備考	共催：福知山市産業支援センター 後援：福知山商工会議所、福知山市商工会	
成果課題	第1講座については市役所インターンシップ生の見学もあり、自分を印象づける自己PRについて講師から参加者1人ひとりにレクチャーするなど盛り上がる内容であった。第2講座は、市内で起業された講師を招き、地域性を踏まえた体験談、産業支援センターの活用法等、非常に充実した内容であった。第1・2講座ともに参加者満足度の高い結果となった。今後も産業支援センターや商工会議所、商工会と連携し、より良い内容で講座を開催できるよう努める。	

2 支援事業

【活動支援】（内容）女性活動支援ルームは男女共同参画社会の実現に向け、女性の活動の支援の場としてさまざまな団体に利用されている。

女性活動支援ルーム利用状況

月	利用回数	利用人数
4月	17回	97人
5月	10回	49人
6月	18回	162人
7月	19回	142人
8月	17回	124人
9月	22回	145人

月	利用回数	利用人数
10月	28回	201人
11月	16回	165人
12月	15回	140人
1月	21回	155人
2月	22回	201人
3月	27回	115人

合 計	232回	1,696人
-----	------	--------

3 相談事業

事業名	女性相談
事業目的	女性に対する暴力や就業、セクシュアリティ等女性の人権に関する相談に応じるとともに、問題の早期解決を図る。
事業内容	年間実施回数等 22回（内4回は性別にこだわらない相談） 時間 午後1時～4時（各回1人1時間、3人まで） 場所 男女共同参画センター相談室 相談対応 女性問題専門カウンセラー 人数（件数） 37人（47件）
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容は離婚、夫婦間の問題が多い。 ・前年度より相談人数、件数ともに増加しているが、コロナの影響とは考えにくい。 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言発令中の相談については、対面ではなく、電話による相談とした。 ・原則、面談相談であるが、外出が困難な人については電話での相談も受ける。 ・緊急性の低い相談内容で、継続して相談を受けることを希望される場合もあるため、上限を5回とし、それ以上はキャンセル待ちで予約を受け付ける。

事業名	性別にこだわらない相談
事業目的	女性と限定せずに、どなたも安心して相談できるよう実施する。
事業内容	年間実施回数等 4回 時間 午後1時～4時（各回1人1時間、3人まで） 場所 男女共同参画センター相談室 相談対応 専門カウンセラー 女性以外の人数（件数） 0（0件）
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は女性以外の利用者がなかったが、過去には夫婦でそれぞれ相談を受けるケースもあった。また、男性のための電話相談は実施しているが、電話ではなく先生の表情を見ながら相談する方が安心するという相談者もあり、引き続き相談窓口の案内、啓発に努める。

事業名	男性のための電話相談
事業目的	様々な要因で植え付けられた性別役割分担意識により、「男性だから人前で泣いてはいけない」「男性だから我慢をする」など男性に課せられている意識が社会には存在する。家庭問題や職場での人間関係に悩んでいる男性、新しい生き方を模索している男性のために男性臨床心理士による電話相談を実施する。
事業内容	年間実施回数等 4回 時間 土曜日（午前10時30分～12時）月曜日（午後5時30分～7時） 各回1人30分、3人まで 相談対応 男性の臨床心理士 人数（件数） 3人（3件）
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大により悩みを抱える人も多くいると予想されたが、相談人数や相談内容への影響はなかった。 ・少ない人数ではあるが、ゼロになることはないため、相談窓口は必要であると感じる。

事業名	女性の弁護士による女性法律相談
事業目的	女性に対する暴力やストーカー、セクシュアル・ハラスメント等女性の人権に関する問題について、市民が無料で法律相談を受ける機会を設け、法律の専門的な情報を提供し早期解決を図る。
事業内容	年間実施回数等 8回 時間 水曜日、午後1時～午後4時（各回1人45分、定員4人） 場所 男女共同参画センター相談室 相談対応 女性の弁護士（京都弁護士会） 人数（件数） 24人（24件）
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容は離婚に関することが多く、早期の相談を希望する人が多いため、次回の相談日まで待てずに断念する人も多い。その場合は、市の無料法律相談や、法テラス、京都弁護士会の法律相談を案内している。

〈女性相談内容の内訳〉

* 1人1カウント。同一人が継続して複数回相談した場合も1とカウント。情報提供を含む。

内（ ）は性別にこだわらない相談

	職員対応			女性問題カウンセラーによる女性相談（専門）			女性弁護士による女性法律相談（専門）			【職員・女性・法律】合計		
年度	2年度	元年度	30年度	2年度	元年度	30年度	2年度	元年度	30年度	2年度	元年度	30年度
年間実施回数 (性別にこだわらない相談の女性以外的人数)				22 (4)	22 (4)	22 (4)	8	8	8			
DV	69	82	88	6	6 (1)	4	5	3	4	80	91	96
離婚	9	6	3	9	7 (1)	9	7	7	14	25	20	26
セクシュアル・ハラスメント	0	0	2	1	1	0	0	0	0	1	1	2
ストーカー	4	3	6	0	0	0	0	1	0	4	4	6
夫婦関係	12	2	0	8	3	5	3	4	1	23	9	6
家庭	12	4	5	6	7	9	3	2	1	21	13	15
その他	25	23	30	7	8	11	6	9	6	38	40	47
計	131	120	134	37	32 (2)	38	24	26	26	192	178	198

4 DV被害者等支援

「配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・自立支援に関する計画（第2次）」に基づき支援を行った。

DV被害者が安心して安全な生活をするために、被害者の気持ちに寄り添い、庁内DV被害者支援担当課と連携を図りながら、関係機関（家庭支援総合センター、警察等）への情報提供、一時保護やDV被害者の自立に向けての支援など総合的な支援を実施するとともに、女性問題カウンセラーによる女性相談や女性の弁護士による女性法律相談等の専門相談を実施した。

庁内DV被害者支援担当課会議、福知山市DV・ストーカー対策ネットワーク会議（福知山警察署等京都府関係機関との情報共有）の定期開催、また、北部市町DV担当者会議等への参加など、関係部署との連携強化に努め、適切な支援に繋げることができた。

DV・虐待等被害者に係るマイナンバー制度における不開示措置等の設定に関する対応等について、庁内担当課間において統一した対応を図るため、DV等被害者情報の漏洩防止とDV等被害者の安全確保についてDV等被害者情報管理体制（平成30年度整備）に基づき支援をした。

多様な性（SOGI）について、他人事ではなく自分自身のこととして理解を深め、だれもが相談しやすい環境整備と啓発に努めた。

SOGI

SO (Sexual Orientation＝性的指向)

GI (Gender Identity＝性自認)

*LGBTがL《レズビアン》、G《ゲイ》、B《バイセクシュアル》、T《トランスジェンダー》を指し、そのカテゴリーに当てはまる人と、当てはまらない人があるのに対し、SOGIは、『誰にでも性的指向と性自認があり、それによって差別されてはいけない』という考えを示すもので、すべての人に関わること。

5 情報・啓発資料

【情報掲載資料】

掲 載 資 料	内 容 (テ ー マ)	備 考
広報ふくちやま4月号・HP 両丹日日新聞	<ul style="list-style-type: none"> ・「はばたきネットワーク」メンバー募集 ・第23回「はばたきフェスティバル」実行委員会募集 	募集
広報ふくちやま6月号・HP	・男女共同参画週間展示 (6/23～6/29)	お知らせ
広報ふくちやま8月号・HP・ 市公式SNS LINE	・はばたきセミナー第2講座 (8/22)	お知らせ
広報ふくちやま9月号・HP 市公式SNS LINE	<ul style="list-style-type: none"> ・はばたき企業啓発セミナー (9/24) ・女性活躍推進セミナー女性社員向け研修 (10/7・10/19) 	お知らせ
広報ふくちやま11月号・HP 市公式SNS LINE	<ul style="list-style-type: none"> ・女性に対する暴力をなくす運動期間 (11/12～11/25) ・はばたきセミナー第3講座 (11/13) ・ふくちやま女性起業応援セミナー (11/27・12/9) ・女性活躍推進セミナー管理職・人事担当者向け研修 (12/4) 	お知らせ
広報ふくちやま1月号・HP	第23回はばたきフェスティバル (2/21)	お知らせ
広報ふくちやま (相談がある月)	相談案内 (女性相談・女性の弁護士による女性法律相談・性別にこだわらない相談・男性のための電話相談)	お知らせ

【啓発資料】

資 料 名	規 格	備 考
DV防止啓発用カード	名刺大・2色刷	市関係施設、医師会、民間事業所、各自治会宛等に配布
デートDV防止啓発用パンフレット	A4三折・2色刷	<ul style="list-style-type: none"> ・市内高校1年生に配布 ・WITH YOUによる「デートDV防止プログラム、ワークショップ」実施 ・高校、中学校で受講生徒に配布

【男女共同参画センター情報紙】

発行	主 な 内 容
令和2年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画週間について ・実現しよう！ワーク・ライフ・バランス
令和2年9月	<ul style="list-style-type: none"> ・性の多様性を考えよう
令和2年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・女性に対する暴力をなくす運動 ・性暴力・性犯罪、DVについて
令和3年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・リプロダクティブ・ヘルス／ライツについて ・今こそ！おうち性教育 ・多様な性を知るシリーズ（4コマ漫画）
備考	発行部数：約400部／1回 配 布 先：市関係機関、子育て支援センター、はばたきネットワーク等

【男女共同参画センター啓発展示】

啓発期間	啓 発 内 容
令和2年4月	AV出演強要・「JKビジネス」等被害防止月間
令和2年6月	男女共同参画週間（6/23～6/29）
令和2年11月	女性に対する暴力をなくす運動期間（11/12～11/25）
令和2年3月	レインボーフラッグ展示

「はばたきプラン2011」後期計画実施計画

平成28～32年度

番号	課題	具体的施策	事業名	概要	所管または実施課	実施年度
1	女性に対する暴力の根絶と人権の尊重	1 ドメスティック・バイオレンス防止対策の推進と女性に対する暴力の根絶	DV被害者相談事業	職員の相談スキルを向上させ、DV被害者の救済と適確な支援の入り口となるDV相談を行う。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
			DV防止啓発事業	11月のDVをなくす啓発期間にあわせ、DVの実態や被害者へのサポート等に関する講座を実施し、啓発を行う。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
			相談窓口の周知事業	女子トイレや窓口だけでなく、各施設で手に取りやすい場所に「DV相談支援カード」を設置する。	関係する部署	28. 29. 30. 31. 32
			デートDV防止ワークショップ	市内中学校、高等学校と連携しデートDV防止に向けた学習機会を提供する。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
		2 セクシュアル・ハラスメント防止対策の推進	ハラスメント苦情処理委員会	ハラスメント苦情処理委員会により様々なハラスメントの防止に取り組む。	職員課	28. 29. 30. 31. 32
			はばたき企業啓発セミナー	はばたきセミナーを事業所向けに企画し、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等、様々なハラスメント防止についての啓発を実施する。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
		3 社会的に弱い立場の女性への人権侵害の防止	子ども安全対策事業	子どもたちの防犯、暴力からの安全確保のために、防犯ブザーの配布、安全教育、様々な周知啓発を行う。また、地域の見守り隊と連携し、登下校の安全対策を推進する。	学校教育課	28. 29. 30. 31. 32
			女性相談・DV相談の周知	多くの市民が訪れる市民課の窓口「市女性相談のお知らせ」及び「DV相談支援カード」を置き、相談窓口の周知と啓発に努める。	市民課	28. 29. 30. 31. 32
		4 被害女性に対する救済と支援	DV被害者住民基本台帳事務支援措置	DV被害者を加害者から守るため、転入・転出・転居等住民登録の手続きの際に、被害者からの申し出により、「要注意情報」を登録し、住民票等の請求について配慮するとともに、庁内の関係機関と連携をとり、DV被害者の保護に努める。	市民課	28. 29. 30. 31. 32
			市営住宅入居募集	DV被害者への市営住宅の目的外使用や母子家庭への市営住宅の優先枠の確保を行う。	建築課	28. 29. 30. 31. 32
			母子生活支援事業	DV被害者の母子自立支援施設への入所により母子の心身の安全を確保し、自立に向けた支援に結びつける。	子育て支援課	28. 29. 30. 31. 32

番号	課 題	具体的施策	事業名	概要	所管または実施課	実施年度	
1	女性に対する暴力の根絶と人権の尊重	被害女性に対する救済と支援	4	D V被害者支援事業	・被害者の国民健康保険加入についての支援 ・被害者の住居を確保するとともに経済的な支援 ・被害者の子どもの予防接種、乳幼児健診、健康相談、被害者（母親）の心身の健康管理 ・被害者の子どもの就学支援 ・被害者の子どもの就学支援 ・被害者の発見と相談	保険課 社会福祉課 健康推進課 子育て支援課 学校教育課 市民病院	28. 29. 30. 31. 32
			5	市民相談事業	市政に対する要望や苦情、日常の困りごとに対して、相談員を配置して応じるとともに、定期的に弁護士や司法書士等による専門相談を開催。	秘書広報課	28. 29. 30. 31. 32
				家庭児童相談事業	子育てをはじめとする様々な悩みについて、相談員が常時相談を受ける。	子育て支援課	28. 29. 30. 31. 32
				女性相談事業	女性が抱える様々な悩みについて、女性専門のカウンセラーが相談を受ける。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
				女性弁護士による女性法律相談	複雑多様化する女性相談の内容に対応するため、女性弁護士が法律の側面から専門的な情報を提供し、問題の早期解決を図る。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
2		ジェンダーに基づく固定的な性別役割分担意識の解消の取組		人権相談	広く人権にかかる相談の場として月1回特設相談を実施。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
				障害者相談員相談事業	日常生活に著しい制限を受けている在宅の障害のある人のために、身体障害者相談員が定期的な相談日を設け、福祉相談等を行うことにより、障害者の日常生活の向上を図る。	社会福祉課	28. 29. 30. 31. 32
				京都府関係機関との連携	警察、中丹西保健所、京都府北部家庭支援センターなどと連携をとりながら相談支援活動を行う。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
			6	はばたきセミナー	固定的な性別役割分担意識を解消するための啓発を継続し実施する。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
			7	メディアにおける男女共同参画の推進	暮らしに役立つ広報誌として市政情報などを掲載した「広報ふくちやま」を毎月1回発行し、市内全世帯に配布する。啓発記事「シリーズ人権」に男女共同参画社会の実現に向けた具体的な取組を紹介することで住民の意識を高める。 最新の市政情報を市民や市外へ情報発信する。	秘書広報課	28. 29. 30. 31. 32
			ホームページ運営事業		秘書広報課	28. 29. 30. 31. 32	
			市刊行物における表現の配慮	男女共同参画の視点から、市の刊行物の表現を点検する。	全部署	28. 29. 30. 31. 32	

番号	課 題	具体的施策	事業名	概要	所管または実施課	実施年度
2		8 市民への啓発の推進	共に幸せを生きるまちづくり人権講座	あらゆる人権問題の解決に向け、地域での実践に結びつけるため、地域公民館や学校との連携により人権講座を実施。	生涯学習課	28. 29. 30. 31. 32
			差別を許さない人材育事業（STAR事業）	21世紀を担う全ての子どもたちが、一人ひとりの人権を大切にし、あらゆる差別を許さない子どもにも成長することを願い、子どもたちを育成する。	生涯学習課	28. 29. 30. 31. 32
意識改革のための教育・学習と啓発の推進			はばたきセミナー	年4回の講座を開催。講座内容は、固定的な性別役割分担意識、DV、女性活躍推進等の男女共同参画社会の実現に向けたテーマを設定して実施する。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
			男女共同参画年次報告書作成	男女共同参画の推進等に関する市施策の実施状況と効果等について報告書を作成し、公表する。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
			人権ふれあいセンター・児童館・教育集会所たより	各施設だよりの中で、個人として能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を図る内容の啓発文を掲載する。	人権推進室 子育て支援課 生涯学習課	28. 29. 31. 31. 32
			広報ふくちやま	人権特集号等に掲載。掲載内容は、講演会のお知らせ、各種相談の日程、意識調査結果、はばたきプランなどについて、市民に周知する。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
			人権ふれあいセンター・児童館・教育集会所における啓発事業	女性問題、男女共同参画に関する内容で市民啓発として講演会を実施。	人権推進室 子育て支援課	28. 29. 31. 31. 32
			高齢者教室	人権ふれあいセンター、教育集会所で実施する高齢者教室で全ての人が性別による差別を受けない男女共同参画社会の推進を図る学習を推進するとともに、健康づくり効果、生きがい対策事業を実施し、高齢者の積極的な社会参加の促進を図る。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
			地区公民館巡回講座	・地域公民館や自治会で自主的に取組まれる人権学習に職員が出向き、啓発DVD等を活用した講座を実施。 ・DVDの選定にあたり、固定的な性別役割分担意識の解消に向けたテーマのものも候補とする。	生涯学習課	28. 29. 30. 31. 32
		9 学校教育における男女平等と固定的な性別役割分担意識の解消のための教育の推進	幼稚園教育	園児が園生活の中でこれまでの男女の固定的な性別役割分担意識や概念にとらわれることなく、自分らしさとお互いを大切にする意識を自然に学び、認識できるような指導内容での教育を行なう。また、保護者と関わる中で、家庭における固定的な性別分担意識の解消への啓発を行う。	教育総務課	28. 29. 30. 31. 32
			学校における人権教育	男女共同参画について、各校の人権教育推進計画に基づいて行う。各教科・人権学習の中で男女共同参画について正しい知識と実践力を培う学習を実施する。	学校教育課	28. 29. 30. 31. 32

番号	課題	具体的施策	事業名	概要	所管または実施課	実施年度
2	意識改革のための教育・学習と啓発の推進	9	デートDV防止ワークショップ	市内中学校、高等学校と連携しデートDV防止に向けた学習機会を提供する。	人権推進室	28.29.30.31.32
		10	職員研修の充実と人材の育成	年間計画の中で男女共同参画に関する部課内研修や派遣研修を行うことにより、職員の人権意識の高揚やジェンダーに敏感な視点を養う。 男女共同参画や人権に関する職員研修を課内研修として各園または複数園共同で行なうことにより、職員の人権意識の向上やジェンダーに敏感な視点を養う。	職員課 全部署	28.29.30.31.32
			幼稚園職員研修	男女共同参画や人権に関する職員研修を課内研修として各園または複数園共同で行なうことにより、職員の人権意識の向上やジェンダーに敏感な視点を養う。	教育総務課	28.29.31.31.32
			教職員研修	年間計画の中で男女共同参画に関する部課内研修や派遣研修を行うことにより、職員の人権意識の高揚やジェンダーに敏感な視点を養う。	学校教育課	28.29.30.31.32
			学校用務員研修	全体での職場研修で、男女共同参画や人権に関する研修をテーマとして取り入れ、性別役割分担意識の解消に向けて等男女共同参画の意識の向上を図る。	教育総務課	28.29.30.31.32
			消防団員研修	男女共同参画の視点から、家庭や職場における役割分担意識の解消に向け、男女の別なく子育てや家事への参画を促進するため、消防職員・消防団員への啓発を行う。	消防本部	28.29.30.31.32
			保育園職員研修	保育の質を担保する保育園職員の人権研修会の開催。 公立・民間保育園の保育士が京都府や保育協会が実施する研修に参加し、子どもや家庭の支援に関する研修を受講し、人権尊重を保育の基盤とする。	子育て支援課	28.29.30.31.32
			差別を許さない人材育成基本計画	各地区で計画実行されている人材育成計画に男女共同参画の視点を徹底する取組の実施。	人権推進室 子育て支援課 教育総務課 学校教育課 生涯学習課	28.29.30.31.32
			男女共同参画人材育成事業	教育現場および市職員の男女共同参画推進に資する人材育成の実施。	人権推進室	28.29.30.31.32
		11	市民意識調査の実施	市民対象の人権意識調査を実施するなかで、男女共同参画の意識も調査する。	人権推進室	31
			男女共同参画に関する市民意識調査の実施	市民対象に男女共同参画に関する意識調査を実施する。	人権推進室	31
3		12	リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する理解の促進	リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する正しい理解の周知と啓発に関するセミナーの実施。	人権推進室	28.29.30.31.32

番号	課題	具体的施策	事業名	概要	所管または実施課	実施年度
3	生涯を通じた女性の健康支援	13 生涯を通じた女性の心身の健康づくりの支援	女性のライフスタイル 支援事業	①妊婦健診を公費負担で実施 ②妊娠中の歯科健診を公費で1回実施 ③助産師・保健師等の妊婦・産婦・新生児・乳児に対する指導や育児支援として訪問指導実施 ④⑤子宮がん・乳がん(マンモグラフィ併用検診)の実施。検診受診率が低く、これまでに受診されなかった人にもがん検診の重要性等について理解を促進し、今後の継続的な受診を促すため国の補助を受け、働く女性支援のためのがん検診推進事業(子宮頸がん検診(20歳)、乳がん検診(40歳)の受診啓発と検診費用の無料クーポン券を個別送付し、受診勧奨。 ⑥子育て中の女性や更年期世代への健康教育を継続して実施	健康推進課	28. 29. 30. 31. 32
			健康相談	人権ふれあいセンターにおいて定期的に健康相談を実施。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
			男性のための電話相談	様々な要因で植えつけられた性別役割分担意識によって、家庭や職場での人間関係等に悩む男性を対象に男性臨床心理士による相談を実施する。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
			性別にこだわらない相談	性別に関わらず、男性、女性、性的マイノリティの人誰もが、心の悩みを相談できる窓口として開設し、性のあり方を正しく理解し、多様性を受け入れる社会づくりの一助とする。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
4	家庭における男女共同参画の推進	14 家庭生活と地域・市民活動を両立するための支援	ファミリーサポートセンター事業	育児の援助を行いたい者及び育児の援助を受けたい者からなる会員組織として福知山市子育てファミリー・サポート・センターを設置し、安心して子育てができる環境づくりを行う。	子育て支援課	28. 29. 30. 31. 32
			はばたきセミナー	家庭生活とそれ以外の生活の両立を可能にする、働き方の見直しはじめとする、両立支援セミナーを実施。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
			男性の料理教室	男性が料理をすることで、家庭における男女共同参画を進め、女性が地域で活躍できる場を増やしていく。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
		15 女性の社会参加のための子育て支援の充実	保育園	子育て支援策として、公立9園、民間20園、小規模保育所2園で運営。	子育て支援課	28. 29. 30. 31. 32
			放課後児童クラブ	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し、放課後や学校休業日に見守りを行い、保護者の就労と子育ての両立を支援する。	生涯学習課	28. 29. 30. 31. 32

番号	課題	具体的施策	事業名	概要	所管または実施課	実施年度
4	家庭における男女共同参画の推進	15 女性の社会参加のための子育て支援の充実	子育て交流・相談支援 対策事業	地域での子育てをサポートするため、あゆみ保育園（委託）、三和保育園、下夜久野保育園、げん鬼保育園（直営）に地域子育て支援センターを設置し、子育て相談、園庭開放事業を実施する。また、岡ノ三地域に地域子育て支援ひろばを設置し、子育てに関する学習会、講座、情報誌の発行、子育て相談、子育て世代交流などの事業を実施する。	子育て支援課	28. 29. 30. 31. 32
			妊産婦にやさしい環境づくり	・「マタニティーマークチェーンホルダー」を妊婦に配布。 ・マタニティーマークを広報紙等に掲載し、市民への広報活動を推進。	健康推進課	28. 29. 30. 31. 32
			パパ・ママ学級	男女共同参画の視点に立ち、男女で協力して妊娠、出産、育児に取り組めるよう、年間6回の教室を実施（うち、3回は土曜日に開催）。	健康推進課	28. 29. 30. 31. 32
			両親学級 ダディ・マミィクラブ	妊婦とその夫が妊娠初期から分娩、育児について主体的に問題解決できるよう参加型集団指導を行う。 前期・後期の2回1クールで参加する。 隔週水曜日、日曜日に予約制で実施する。	市民病院	28. 29. 30. 31. 32
			子育て支援事業 母子支援事業	救急入院や分娩入院で子どもの虐待を疑う事例があったときに面談と支援を行う。 子育て支援課、児童相談所と連携を行い、虐待リスクを早期に発見予防する。	市民病院	28. 29. 30. 31. 32
			院内助産院	妊娠から出産、産褥を特定の助産師が継続して担当し、安全で満足度の高い出産に繋げていく。 リスクが高い場合は医師コースへ移行することも可能であり、緊急時は産科医、小児科医が24時間体制で対応する。	市民病院	28. 29. 30. 31. 32
		16 活力ある高齢期のための支援策の充実と介護支援	老人クラブ育成	生きがいや健康づくり等の事業を実施している福知山市老人クラブ連合会や単位老人クラブに対する支援。 女性会員への様々な研修会の開催・受託。 （府老連や市老連主催の女性リーダー研修に参加、女性委員の積極的な事業参画などを推進する。）	高齢者福祉課	28. 29. 30. 31. 32
			高齢者教育推進事業	高齢者が自立し、いきいきとした生活と社会参加ができるための健康づくりや介護予防の推進を図る。	中央公民館	28. 29. 30. 31. 32
			高齢者人材活用事業	今まで培ってきた経験や知識を地域活動や学習に活かせる世代間交流と社会参加により地域への参画を推進する。	中央公民館	28. 29. 30. 31. 32

番号	課題	具体的施策	事業名	概要	所管または実施課	実施年度
4		16 活力ある高齢期のための支援策の充実と介護支援	シルバー人材センター支援事業	シルバー人材センターの会員が、長年培ってきた知識や経験、技能を活かし、就業を通じて社会参加することで自らの生きがい創出と健康維持を図るとともに、地域社会への貢献により地域活力の向上に寄与することを目的に、シルバー人材センターの活動を支援するとともに、就業機会の提供に配慮する。	生活交通課	28. 29. 30. 31. 32
5		17 雇用における男女の均等な機会と待遇の確保	超過勤務の縮減	労働時間の短縮により仕事と家庭の両立支援を図り、健康で豊かな生活を送るワーク・ライフ・バランスが実現した社会を目指す。 ・幹部職員が率先した定時退庁 ・超過勤務時間の縮減のための意識啓発等 ・ノー残業デーの実施、強化 ・業務改善	職員課 全部署	28. 29. 30. 31. 32
			次世代育成支援対策特定事業主行動計画の推進	次世代育成支援に係る啓発資料の作成、配布。育児休業等の取得促進、取得後の円滑な職場復帰の支援。男性職員による積極的な制度の活用。代替要員の確保。家庭・男女の役割についての意識啓発。超過勤務の縮減。休暇の取得促進。子育てを行う女性職員の活躍推進に向けた取組(女性職員を対象とした取組、管理職等を対象とした取組)	職員課 全部署	28. 29. 30. 31. 32
			ふるさと就職おうえん事業	福知山雇用連絡会議の活動の一環として、男女雇用機会均等法等公正採用について啓発するパンフレットを作成し、商工会議所・商工会等を通して配布する。また、就職フェア等で求職者に対しても啓発を行う。	産業振興課 人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
			福知山市企業人権教育推進協議会での啓発	社会のあらゆる不公平と不合理を許さない企業活動の促進を図るため、企業の人権学習を推進、支援する。	生涯学習課	28. 29. 30. 31. 32
			幼稚園・小学校・中学校における衛生推進者設置	労働安全衛生法の規定による衛生推進者として、小・中学校では教頭、幼稚園では園長を任命し、職場の危険・健康障害の防止、安全衛生教育、健康診断の実施など、労働安全衛生体制の整備に努める。衛生推進者が職場の環境づくり(ワークライフバランスの推進)に努める。心身の不調が認められる者については、面接医等の面談を行う。	学校教育課	28. 29. 30. 31. 32
		18 農業・商工業など の自営業における 男女共同参画の推進	農村女性協議会研修会	農村女性が担っている役割に対する正当な評価による女性の地位向上や男女共同参画を目指して、農村女性のネットワーク化を図る活動を展開するとともに、男女共同参画に対する認識を深めるための学習会を開催する。	農林業振興課	28. 29. 30. 31. 32
			はばたき企業啓発セミナー	はばたきセミナーを企業や事業所、自営業者向けに企画し、ワーク・ライフ・バランスの推進や固定的な性別役割分担意識の解消等について啓発を実施する。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32

働く場・地域における男女共同参画の推進

番号	課 題	具体的施策	事業名	概要	所管または実施課	実施年度
5		19 女性の就労・再就職のための支援	女性活躍セミナー	出産や子育て期をむかえた女性が就労を継続でき、キャリアアップをめざすことができる職場環境づくりのため、労働者側と経営者側双方に対してそれぞれ意識改革の研修を実施し、市内企業における女性活躍の推進を図る。	人権推進室	28.29.30.31.32
			就職相談	人権ふれあいセンター等において就職情報を提供し、相談を実施。	人権推進室	28.29.30.31.32
		20 地域での活動における男女共同参画の推進	はばたきセミナー	女性も男性も地域活動に参加できるよう働き方の見直しなどワーク・ライフ・バランスの推進についての啓発を実施。	人権推進室	28.29.30.31.32
6	政策・方針決定の場への女性の参画の促進	21 市審議会等の女性比率の向上	審議会等への女性委員の登用	行政委員会、審議会等市長の付属機関、その他の協議会への積極的な女性の登用。	審議会等を運営している課	28.29.30.31.32
			各種計画、方針決定等への市民意見の反映	パブリックコメント等を用い、計画立案時や意思決定時に、市民の意見を反映できる手法の確立。	関係する部署	28.29.30.31.32
		22 市幹部職員への女性登用	職員研修事業の充実	政策形成、マネジメント系研修への女性職員の受講や対象研修の拡大に努め、女性職員の受講者を増やす。	職員課	28.29.30.31.32
			市幹部職員への女性登用	・女性が働きやすい環境を整備し、女性の管理職登用を積極的に進め、女性管理職比率の維持・向上を図る。(女性職員比率33%) ・女性職員に対する多様なロールモデル(模範となる職員)、キャリアパス(目標となる職位や職務に就くために必要な一連の業務経験やステップ・配置異動などのルール)の紹介や女性同士のネットワークの構築を進める取組並びに本市キャリアアップサポート(人事考課制度)の効果的活用により、女性が昇進意欲を持てるよう支援するとともにマネジメント力の向上に努める。	職員課 全部署	28.29.30.31.32
			女性の職域拡大、職務分担の見直し	職務分担や職場習慣において、性別による偏りがなく、偏りが職場慣行として定着していないかを点検し、必要に応じ見直しを行う。	全部署	28.29.30.31.32
			教職員の女性採用と、教職員管理職への女性登用	教職員採用・教職員管理職登用にあたり、適材適所の人員配置に努める。	学校教育課	28.29.30.31.32
		23 企業や団体における女性登用の啓発	はばたき企業啓発セミナー	はばたきセミナーを事業所向けに企画し、女性の登用や働き方の見直しについての啓発を実施する。	人権推進室	28.29.30.31.32

番号	課 題	具体的施策	事業名	概要	所管または実施課	実施年度
6		24 地域活動における女性登用の啓発	市立公民館運営事業	市立公民館運営審議会委員の選考方法に一般公募を取入れ、積極的に女性委員の登用を図る。	中央公民館	28. 29. 30. 31. 32
			丹波生活衣館管理運営事業	福知山市丹波生活衣館の運営にあたり、企画・運営への参画を促進する。	文化・スポーツ振興課	28. 29. 30. 31. 32
		25 女性団体の活動支援	福知山市連合婦人会生涯学習講座	・中央・地域学区別にそれぞれの生涯学習講座を開催 ・年数回実施する研修の中に、男女共同参画の実現に向けたテーマを取り入れる。	生涯学習課	28. 29. 30. 31. 32
7	市民との協働体制の確立		女性団体ネットワーク	ネットワーク会議やはばたきプランに基づく研修会や意見交流会及び学習会等を実施する。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
			はばたきフェスティバル	女性団体等で構成された実行委員会による企画運営を行う。講演会、グループワーク、作品展示等の実施により市民への男女共同参画への啓発をするとともに交流の場とする。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32
		26 NPOやボランティア団体との協働支援	消防団活動における積極的な女性参加の促進	平成13年度に発足した「ふくちやまファイヤーエンジェルズ」を継続して募集するとともに、分団所属の女性消防団員の加入を促進し、消防団活動における女性参加を促進する。	消防本部 (総務課)	28. 29. 30. 31. 32
8	その他の課題	27 防災における男女共同参画の推進	自主防災組織育成事業	・自主防火・防災組織の設置推進及び組織運営の強化を図る。 ・自治会を対象に「自主防災リーダー養成講座」を年間3回開講する。 ・自治会長等の推薦が必要となるが、女性受講者の推薦を促し、女性リーダーの育成を推し進める。	消防本部 (予防課)	28. 29. 30. 31. 32
		28 国際的協調と連携	広報ふくちやま	男女共同参画に係る国際的な動向や諸外国の動き等掲載し国際感覚の育成に努める。	人権推進室	28. 29. 30. 31. 32

令和2年度 男女共同参画推進にかかる事業調査結果

施策 番号	事業名	事業概要	実施結果 (具体的な数値を記入)	課題点・問題点	評価 A B C	担当課
1-5	市民相談事業	市政に対する要望や苦情、日常の困りごとに対して、相談員を配置して応じるとともに、定期的に弁護士や司法書士等による専門相談を開催。	窓口相談件数 272件中 女性 118件 弁護士相談件数 126件中 女性 54件 司法書士相談 82件中 女性 41件	今後とも、男女の区別なく相談を受け、女性相談が必要な場合は遅滞なく男女共同参画係に引き継ぐ。	A	市民課
2-7	広報ふくちやま発行事業	暮らしに役立つ広報誌として市政情報などを掲載した「広報ふくちやま」を毎月1回発行し、市内全世帯に配布する。啓発記事「シリーズ人権」に男女共同参画社会の実現に向けた具体的な取組を紹介することで住民の意識を高める。	第50回人権を考える市民のつどい等の開催について広報ふくちやまを通じて市民に周知した。 そのほか、女性相談、就職支援、セミナーなどの案内を定期的に掲載した。	関連記事は「シリーズ人権」に限定せず、必要に応じて掲載する。	A	秘書広報課
2-7	ホームページ運営事業	最新の市政情報を市民や市外へ情報発信する。	講演会や第23回はばたきフェスティバルや男女がともに考える「はばたきセミナー」等の開催について、市ホームページを通じて市民等に広く周知した。 H31.2.28にホームページをリニューアルし、各担当部署で記事の作成が可能となり、旬な情報を提供している。また、誰もが利用しやすいようウェブアクセシビリティの向上を図っている。	充実した内容の情報発信ができるよう各課との連携強化が必要である。	A	秘書広報課
6-24	丹波生活衣館管理運営事業	福知山市丹波生活衣館の運営にあたり、企画・運営への参画を促進する。	丹波生活衣館企画運営にかかる女性の参画常設及び企画展示の実施回数 2回 うち女性委員の参画数 2回	常設展については、丹波生活衣同好会が参画している。同会はほぼ女性により構成されているため、女性の参画率は高い。課題として同会の会員の高齢化があり、今後の参画率の低下が懸念される。	A	文化・スポーツ振興課
1-2	ハラスメント苦情処理委員会	ハラスメント苦情処理委員会により様々なハラスメントの防止に取り組む。	令和2年度は苦情相談がなかったため、委員会の開催は無かった。		A	職員課
6-22	職員研修事業の充実	政策形成、マネジメント系研修への女性職員の受講や対象研修の拡大に努め、女性職員の受講者を増やす。	男女の区別なくすべての研修に受講機会を設けている。 ・新任主任級・新任主査級研修 ・新任課長、新任課長補佐、新任係長級研修 ・派遣研修（市町村振興協会他）	今後は各職場において参加しやすい状況や女性職員の意識改革等に取り組んでいく必要がある。	A	職員課
1-4	DV被害者支援事業	被害者の子どもの予防接種、健康相談、被害者（母親）の心身の健康管理	定期予防接種・乳幼児健診・相談について、保護者の希望のもと、了解を得たうえで、住民票のある自治体と連絡を取り予防接種が実施できるよう支援をしている。	関係機関が連携を図り、DV被害者とその子に生活する子どもの安全・安心を守るための包括的な支援を提供する。	A	子ども政策室
3-13	女性のライフスタイル支援事業	①妊婦健診を公費負担で実施 ②妊娠中の歯科健診を公費で1回実施 ③助産師・保健師等の妊婦・産婦・新生児・乳児に対する指導や育児支援として訪問指導実施 ④⑤子宮がん・乳がん（マンモグラフィ単独検診）の実施。検診受診率が低く、これまで受診されなかった人にもがん検診の重要性等について理解を促進し、今後の継続的な受診を促すため国の補助を受け、働く女性支援のためのがん検診推進事業（子宮頸がん検診（20歳）、乳がん検診（40歳）の受診啓発と検診費用の無料クーポン券を個別送付し、受診勧奨。 ⑥子育て中の女性や更年期世代への健康教育を継続して実施	①R2は、飛び込み出産は1件（若年者）。妊娠届出後からは定期受診できている人がほとんどである。府外受診者への公費負担も実施できている。 ②届出をした妊婦の受診率は46%程度を維持している。 ③R2は、実1,308件、延2,028件。	令和2年度から、妊娠・出産においてリスクが高い多胎妊婦の妊婦健診回数を増やし、安心安全な妊娠・出産を支援している。産婦健康診査の結果、早期の介入により産後うつや虐待未然防止につながるよう、さらに医療機関や助産院との連携を強化する。支援が必要と判断された産婦の受け皿となる事業（助産師や保健師の訪問、産後ケア事業等）の充実により、個々の課題や状況に応じた寄り添い支援が提供できる体制を整え、産前産後の支援の充実、妊娠期からの切れ目のない支援の実現をめざす。	A	健康医療課 子ども政策室
4-15	妊産婦にやさしい環境づくり	「マタニティマークチェーンホルダー」を妊婦に配布。マタニティマークを広報紙等に掲載し、市民への広報活動を推進。	母子健康手帳発行時、全ての妊婦にマタニティマークチェーンホルダーを配布し啓発に努めた。	広報活動の推進に努める。	A	子ども政策室

施策 番号	事業名	事業概要	実施結果 (具体的な数値を記入)	課題点・問題点	評価 A B C	担当課
4-15	パパママ学級	男女共同参画の視点に立ち、男女で協力して妊娠、出産、育児に取り組めるよう、年間6回の教室を実施(うち、3回は土曜日に開催)。	R2の参加状況は妊婦80人、夫75人であった。	多くの参加者が沐浴やお世話体験に関心があるため、体験型の教室を充実させていく。	A	子ども政策室
1-1	相談窓口の周知事業	女子トイレや窓口だけでなく、各施設で手取りやすい場所に「DV相談支援カード」を設置する。	子ども政策室においては、カードの設置と併せて、子育て支援として個別対応する中で、ケースの個々の状況に応じて窓口を案内し、相談に繋げている。	引き続き、関係機関と連携をとり、必要な対象者へ支援を行う。	A	子ども政策室
1-4	母子生活支援事業	DV被害者の母子自立支援施設への入所により母子の心身の安全を確保し、自立に向けた支援に結びつける。	4世帯(母4 子6)の施設入所があった。DV、児童虐待の背景に隠れている母親の養育力等複数の課題があるケースが入所することで、母子の心身の安全確保、自立に向けた支援に繋がっている。	児童虐待の背景に隠れている母親の養育力等複数の課題があるケースの増加により、施設入所者が増加している。今後は、定期的な母面談や施設との連携により、自立、退所へと繋げていきたい。	A	子ども政策室
1-4	DV被害者支援事業	・被害者の国民健康保険加入についての支援 ・被害者の住居を確保するとともに経済的な支援 ・被害者の子どもの予防接種、乳幼児健診、健康相談、被害者(母親)の心身の健康管理 ・被害者の就園支援 ・被害者の就学支援	定期予防接種・乳幼児健診・相談について、保護者の希望のもと、了解を得たうえで、住民票のある自治体と連絡を取り予防接種が実施できるよう支援をしている。	関係機関が連携を図り、DV被害者とそこに生活する子どもの安全・安心を守るための包括的な支援を提供する。	A	子ども政策室
1-5	家庭児童相談事業	子育てをはじめとする様々な悩みについて、相談員が常時相談を受ける。	家庭児童相談室における、DVに関する相談件数は0件。子ども政策室内での連携強化により、家庭児童相談室単独での相談から、総合相談窓口全体で相談を受け、関係機関と連携をしながら、子どもが安全に安心して育てられる子育て支援と育児環境の整備に努めている。	子育て家庭のDVに関する相談件数は増加傾向にある。引き続き、関係機関と連携をとり、必要な対象者へ支援を行う。	A	子ども政策室
2-8	児童館たより	各施設だよりの中で、個人として能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を図る内容の啓発文を掲載する。	各児童館のたよりの中では啓発文を掲載できていない。		C	子ども政策室
2-8	児童館における啓発事業	女性問題、男女共同参画に関する内容で市民啓発として講演会を実施。	女性問題、男女共同参画に関する内容で市民啓発として講演会を実施。	全児童館での実施とはなっていない。今後とも人権ふれあいセンター・児童館・教育集会所において女性問題、男女共同参画に関する内容で市民啓発を行う。	A	子ども政策室
2-10	保育園職員研修	保育の質を担保する保育園職員の人権研修会の開催。 公立・民間保育園の保育士が京都府や保育協会が実施する研修に参加し、子どもや家庭の支援に関する研修を受講し、人権尊重を保育の基盤とする。	新型コロナウイルス感染症の影響により、一堂に会して研修を開催できなかったが、講演をDVDに収め、各園に配付し視聴してもらった。 人権研修DVD視聴者300名	感染症の影響で一堂に会しての研修会の開催が難しいため、次年度以降、どう進めていくか検討が必要。	A	子ども政策室
4-14	ファミリーサポートセンター事業	育児の援助を行いたい者及び育児の援助を受けたい者からなる会員組織として福知山市子育てファミリー・サポート・センターを設置し、安心して子育てができる環境づくりを行う。	令和2年度より、社会福祉協議会に委託していた事業を直営実施とした。活動実績695件、依頼会員340人、援助会員64人、両方会員15人。直営になったことで、本事業への繋ぎだけでなく、子育て家庭を包括的にアセスメントし、事業を横断的にみて必要なサービスを提供できるようになった。	援助会員数が依頼会員に比較して少なく、一部の方に負担がかかっている。今後は更に、援助会員増加に向けた取り組みを行う。	B	子ども政策室
4-15	保育園	子育て支援策として、公立9園、民間20園、小規模保育所2園で運営。	入園児童数(令和2年3月1日時点) 公立: 567人 私立: 2,017人	保育士の確保が困難な状態であり、年度途中の0歳児、1歳児が希望通りに入園できない状況がある。	A	子ども政策室
4-15	子育て交流・相談支援対策事業	地域での子育てをサポートするため、あゆみ保育園(委託)、三和保育園、下夜久野保育園、げん鬼保育園(直営)に地域子育て支援センターを設置し、子育て相談、園庭開放事業を実施する。また、岡ノ三地域に地域子育て支援ひろばを設置し、子育てに関する学習会、講座、情報誌の発行、子育て相談、子育て世代交流などの事業を実施する。	三和・夜久野・大江子育て支援センター利用者数4,138人、すくすくひろば利用者数5,742人。各施設にて、子育てに関する学習会、講座、子育て相談、子育て交流等を実施。また、子育てに関する情報を、SNSや情報誌により発信した。また、令和元年9月から実施しているライン相談も市民に浸透しつつある。	コロナ禍においても子育て家庭が孤立することのないよう、感染予防対策を徹底して事業を実施する、更にSNSを活用する等の工夫を検討していく。	A	子ども政策室

施策 番号	事業名	事業概要	実施結果 (具体的な数値を記入)	課題点・問題点	評価 A B C	担当課
1-4	DV被害者支援事業	被害者の住居を確保するとともに経済的な支援を行う。	DV被害者の生活の場を確保するため生活保護による経済的支援や相談はなかった。	DV被害者から相談があれば、速やかに経済的支援等の必要性を検討し速やかに対応していく必要がある。	A	社会福祉課
1-5	障害者相談員相談事業	日常生活に著しい制限を受けている在宅の障害のある人のために、身体障害者相談員が定期的な相談日を設け、福祉相談等を行うことにより、障害者の日常生活の向上を図る。	委嘱した障害者相談員による相談日を市所管施設で月4回開催。また、電話や面接による相談を随時行うことで、障害のある人の日常生活の支援につながっている。(障害者相談員数：男性7人、女性14人)		A	障害者福祉課
4-16	老人クラブ育成	生きがいや健康づくり等の事業を実施している福知山市老人クラブ連合会や単位老人クラブに対する支援。 女性会員への様々な研修会の開催・受講。(府老連や市老連主催の女性リーダー研修に参加、女性委員の積極的な事業参画などを推進する。)	高齢者の福祉の増進を図るために、生きがいや健康づくりなどを行う老人クラブ連合会、単位老人クラブを支援した。 シルバーリーダー研修会、女性リーダー研修会をそれぞれ1回開催。	組織化されていない地域もある。 会員は減少傾向にある。	B	高齢者福祉課
4-16	シルバー人材センター支援事業	シルバー人材センターの会員が、長年培ってきた知識や経験、技能を活かし、就業を通じて社会参加することで自らの生きがい創出と健康維持を図るとともに、地域社会への貢献により地域活力の向上に寄与することを目的に、シルバー人材センターの活動を支援するとともに、就業機会の提供に配慮する。	シルバー人材センターの安定的な運営基盤を確保するために補助金を交付した。また、就業機会の提供を目的とし「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づいて適切な業務発注に努めた。	高齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献するために、引き続きシルバー人材センターに対して必要な支援を行う。	A	産業観光課
1-4	女性相談・DV相談の周知	多くの市民が訪れる市民課の窓口「市女性相談のお知らせ」及び「DV相談支援カード」を置き、相談窓口の周知と啓発に努める。	市民課窓口カウンター及び市民相談係窓口に通年でチラシとカードを設置し周知啓発を行った。 市民相談係では関連する相談者にチラシやカードを手渡し周知啓発した。	特になし。 次年度以降も要請に応じ協力する。	A	市民課
1-4	DV被害者住民基本台帳事務支援措置	DV被害者を加害者から守るため、転入・転出・転居等住民登録の手続きの際に、被害者からの申し出により、「要注意情報」を登録し、住民票等の請求について配慮するとともに、庁内の関係機関と連携をとり、DV被害者の保護に努める。	基幹システム上で申出者の住民登録地を、職員も分からないようにしている。 本市住民登録の支援措置申出者：20世帯・59人(令和3年3月末時点)		A	市民課
1-4	DV被害者支援事業	・被害者の国民健康保険加入についての支援	DV被害者の支援 3世帯6名 窓口業務でのDV被害者の対応方法等について確認した。	知りえたDV被害者の住所をシステムに入力したり、書き留めたりしてはならないという申し合わせで運用している。一人一人が意識しての運用であり、間違いないように引き継がなければならない。	A	保険年金課
5-18	農村女性協議会研修会	農村女性が担っている役割に対する正当な評価による女性の地位向上や男女共同参画を目指して、農村女性のネットワーク化を図る活動を展開するとともに、男女共同参画に対する認識を深めるための学習会を開催する。	協議会活動への幅広い参画を求めるとともに、協議会活動の周知に努めた。	参加拡大に向けた啓発に継続して努める。	B	農林業振興課
5-17	ふるさと就職おうえん事業	福知山雇用連絡会議の活動の一環として、男女雇用機会均等法等公正採用について啓発するパンフレットを作成し、商工会議所・商工会等を通して配布する。また、就職フェア等で求職者に対しても啓発を行う。	公正採用に関する企業向け啓発冊子を作成し、福知山商工会議所、福知山市商工会、長田野工業センターを通して配布。その他、窓口等でも配布。また、求職者向けには、就職フェア、フェスタにて冊子を配布し、公正採用に関する説明を行った。	引き続き、企業には冊子の配布、求職者に対しては就職フェア等で説明を行い、企業側、求職者側両方の理解を深めるため、啓発活動に努める。	A	産業観光課 人権推進室
1-4	市営住宅入居募集	・DV被害者への市営住宅の目的外使用や母子家庭への市営住宅の優先枠の確保を行う。	市営住宅の入居募集時に、ひとり親世帯のみ申込可能とする住戸を1〜2割程度設けている。 DV被害者の緊急対応として、市営住宅の目的外使用が可能。	緊急対応により目的外使用を行う場合、住宅は確保できても、生活必需品等が不足する場合がある。	A	建築住宅課
2-10	消防団員研修	男女共同参画の視点から、家庭や職場における役割分担意識の解消に向け、男女の別なく子育てや家事への参画を促進するため、消防職員・消防団員への啓発を行う。	消防団人権研修は隔年にて実施をしていることから今年度については実施していない。	女性消防団員の入団も増えてきたことから、女性も活動しやすい環境について更なる研修を図る。	B	消防本部総務課

施策 番号	事業名	事業概要	実施結果 (具体的な数値を記入)	課題点・問題点	評価 A B C	担当課
7-26	消防団活動における積極的な女性参加の促進	平成13年度に発足した「ふくちやまファイヤーエンジェルズ」を継続して募集するとともに、分団所属の女性消防団員の加入を促進し、消防団活動における女性参加を促進する。	令和2年度 女性消防団員の入団は2名	消防団組織全体として団員が減少傾向にある中で女性の新規入団を確保することは非常に困難な状況である。	B	消防本部総務課
8-27	自主防災組織育成事業	・自主防火・防災組織の設置推進及び組織運営の強化を図る。 ・自治会を対象に「自主防災リーダー養成講座」を年間3回開講する。 ・自治会長等の推薦が必要となるが、女性受講者の推薦を促し、女性リーダーの育成を押し進める。	令和2年度自主防災リーダー養成講座の女性受講者数は、全受講者数94名のうち2名であった。	女性の受講者が少ないことから、引き続き自治会長等に女性の推薦を促す。 自主防災組織の中で、女性の参画を促すよう働きかけることが必要である。 (自治会の中での役員構成を、検討してもらう必要がある。)	B	消防署予防課
4-15	両親学級 ダ ディ・マミィブラ ザ	妊婦とその夫が妊娠初期から分娩、育児について主体的に課題解決できるように参加型集団指導を行うというものの、ハイリスク妊娠とならないためには、後援者が多い中、父親も積極的に協力し自己管理の意識を高める必要がある。そのため両親学級への参加がしやすいように、前期・後期の2回1クールで開催日も水曜日・日曜日に実施し、父親の仕事の都合や母親のみの参加でも出席しやすいよう選択の幅を広げている。 隔週水曜日、日曜日予約制	コロナのため中断中。	1) 参加率のアップ 2) 里帰り分娩の方へのフォロー方法の工夫	-	市民病院
4-15	子育て支援事業母 子支援事業	救急入院や分娩入院で子どもの虐待を疑う事例があったときに面談と支援を行う。 子育て支援課、児童相談所と連携を行い、虐待リスクを早期に発見予防する。	平成18年度から開始し、虐待リスクのスクリーニング項目を作り育児不安の早期発見、早期介入により、育児不安、育児の孤立化による虐待を予防するための早期からの子育て支援と地域への継続をシステム化した。育児支援のため入院時にスクリーニングと支援方針をカンファレンス、満足いく出産体験するための支援、入院中の子育て指導・相談、支援、地域への紹介を行った。令和2年度の地域への紹介事例はのべ47組。平成29年より2週間健診が開始しエジンバラ高得点者についても地域と連携した。令和2年度は地域への紹介事例はのべ72組。	近隣の産科医不足、分娩制限から、生活困難者、精神疾患合併妊婦、若年妊婦、妊婦検診未受診妊婦が他の市や兵庫県からも来院するケースが増えている。生活困難者や未受診ケースは複雑な家庭事情の方が多く、近隣の産科閉鎖に伴い今後当院の果たす役割は益々大きくなると考える。今後、早期発見のために当院がリーダーシップを取り地域との連携を図っていききたい。現在病院システムより産婦入院がむずかしいが取り組みをすすめていきたい。	B	市民病院
4-15	院内助産院	2年の準備期間を持ち、H20.5に稼働。妊娠から出産、産褥を特定の助産師が継続して担当し、安全で満足度の高い出産となるよう、妊娠中の心身の準備、自己管理について細やかに相談に応じ、夫婦で主体的に出産、育児の課題を乗り越えるための支援をする。また、リスクが高い場合は医師コースへ移行したり、緊急時は24時間産科医、小児科医の応援が求められるシステムにより、安全を保障している。	H20年5月、妊婦検診よりスタートした。令和2年度は説明を受けた人が2名。分娩に至った人が0名。これまで、殆どのケースで夫が助産師の妊婦検診に同行されるので、妊娠中から妊婦の健康や、分娩時、出産後の家事育児について具体的にイメージでき、夫のサポートについても具体的に考える機会となっており、途中で医師コースになった人も主体的な分娩について考える機会があったことで、満足いく分娩をしたと振り返りをされる方が多い。	・近年、分娩件数は310～440件で推移している。院内助産院希望者は、やや減少傾向にある。ハイリスク分娩が増加しつつある中で、ローリスク妊婦への継続したケアを自律して実施できるよう助産師確保と育成が必要である。	B	市民病院
2-9	幼稚園教育	園児が園生活の中でこれまでの男女の固定的な性別役割分担意識概念にとらわれることなく、自分らしさとお互いを大切にすることを意識を自然に学び、認識できるように指導内容での教育を行う。また、保護者と関わる中で、家庭における固定的な性別役割分担意識の解消への啓発を行う。	日々の遊びや生活の中で、お互いの良さを感じ、尊重し合う関係づくりができるような支援に努めた。自分の思いを相手に伝えたり、友達に思いを気付いたりできるように支援をしてきた。性別による色や役割などの固定概念にとらわれないよう、日々の生活を通して指導をした。	保育にかかわっては、生活や遊びの場面を捉えて、適切な指導ができたが、保護者へのジェンダーに関する啓発が十分実施できなかった。 園児を指導するにあたり、教師の指導力が重要になるので、課内研修などを通して、研修を積み重ねる必要がある。 PTA活動で、父親も母親も参加しやすい日程や内容の行事を立案していく。	B	子ども政策室

施策 番号	事業名	事業概要	実施結果 (具体的な数値を記入)	課題点・問題点	評価 A B C	担当課
2-10	幼稚園職員研修	男女共同参画や人権に関する職員研修を課内研修として各園または複数園共同で行うことにより、職員の人権意識の向上やジェンダーに敏感な視点を養う。	園内研修のテーマとしては取り上げなかったが、別のテーマを通して男女のあり方や互いに尊重し合う関係作りなどについて話し合った。	日々の生活を通して、人権意識を考える機会を計画的にもったり、自分が感じたことを気軽に話し合える関係作りが大切である。	A	子ども政策室
2-10	学校用務員研修	・全体での職場研修で、男女共同参画をはじめさまざまな人権に関する研修を取り入れ、性別役割分担意識の解消に向けて、男女共同参画の意識向上を図る。	8月3日と8月5日の2日間、学校用務員を対象とした人権研修会を実施した。学校教育課及び人権推進室の職員を講師として招き、2日間で約6時間実施し、延べ89人が受講した。	研修機会の少ない学校用務員に研修の意義をしっかりと認識させるとともに、職務との関わりを通して人権意識を高めていくため、繰り返し研修をしていく必要がある。	B	教育総務課
1-3	子ども安全対策事業	防犯、暴力、交通事故等から子どもたちの安全を確保するために、防犯ブザーや安全旗の配布、安全教育など様々な周知啓発を行う。また、地域の見守り隊と連携し、登下校の安全対策を推進する。	「福知山市安心安全メール」を「京都府防災防犯情報メール」へ統合し登録を推進した。すべての小学校新1年生718人に防犯ブザーを配布。防犯講演会45名受講。見守り隊と連携した登下校の安全確保に努めた。	見守り隊の高齢化や減少によって、子どもたちの見守り活動が十分にできていない地域があるため、後継者作りが必要である。また、学校統合によりスクールバス通学をする子どもの見守り形態も工夫が必要である。	B	学校教育課
1-4	DV被害者支援事業	DV被害者の就学について相談に応じ、対応を検討し関係機関と連携しながら支援を実施した。	関係課での連絡会議で情報共有等について意見交換し、対策を進めた。	関係課が多くあり、担当者も変わっていく中できちんとした引継ぎの徹底が必要である。相談者の状況が様々な為、対応もその都度検討が必要となる。	B	学校教育課
1-9	学校における人権教育	男女共同参画について、各校の人権教育推進計画に基づいて行う。各教科・人権学習の中で男女共同参画について正しい知識と実践力を培う学習を実施する。	男女平等・共同参画について市作成の人権学習副読本『幸せを生きる』や京都府の人権学習資料集・資料等を活用し、正しい認識を培うことができた。	知識理解にとどまらず、日常の生活における行動に現れるよう継続し、指導する。	B	学校教育課
1-10	教職員研修	年間計画の中で男女共同参画に関する部課内研修や派遣研修を行うことにより、職員の人権意識の高揚やジェンダーに敏感な視点を養う。	人権教育主任を中心に研修を実施した。京都府人権学習資料の活用についての研修を行った。	担当指導主事による計画的な研修を進める。	B	学校教育課
2-10	差別を許さない人材育成基本計画	基本計画の着実な推進を図る。このため、各課推進計画の進捗管理を行う。	教育の機会均等を図るため、また修学意欲がありながら経済的理由により修学が困難な高校生の進学を支援し、社会に貢献できる人材を育成するために「高等学校等入学支援金」を支給した。また、あらゆる人権問題の早期解決する人材を育成することをめざし、高校生、大学生を対象とした人権学習会を計画していたが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催できなかった。	人材育成の推進のため、学習会への参加を促し、意見交換による人材交流を促進する。	B	学校教育課
5-17	幼稚園・小学校・中学校における衛生推進者の設置	労働安全衛生法に基づく衛生推進者を小・中学校、幼稚園に設置。労働安全衛生体制の整備に努める。	小・中学校は教頭、幼稚園は園長を衛生推進者として合計28人任命し、職場の環境づくり(ワークライフバランスの推進)に努めた。新型コロナウイルス感染症予防対策で、臨時休校や緊急事態宣言等で時短や交代勤務等の導入で、長時間勤務対象者は例年に比べ減少している。その中でも長時間勤務や心身の不調が認められた教職員の医師・保健師面接を合計10人行った。	教職員の負担軽減や働き方改革が求められる中、引き続き各校(園)の衛生推進者と連携し教職員の健康管理を推進するとともに、適切な労働環境を確保していく必要がある。	B	学校教育課 子ども政策室
6-22	教職員の女性採用と、教職員管理職への女性登用	教職員採用・教職員管理職登用にあたり、適材適所の人員配置に努める。	管理職50名のうち女性16名 新規採用教職員10名のうち女性5名	京都府教育委員会と連携し、引き続き女性管理職の登用や女性教職員の採用に努めていく。	B	学校教育課

施策 番号	事業名	事業概要	実施結果 (具体的な数値を記入)	課題点・問題点	評価 A B C	担当課
2-8	共に幸せを生きる まちづくり人権講 座	一人一人が今一度、様々な人権の大切さについて学び、家庭や地域での実践に資する。	年間13回の講座を実施し、のべ1,127人の参加があった。 新型コロナウイルス感染症の影響により中止したところも多くあり、今年度については男女共同参画をテーマとしたものはなかった。	地域の実情に応じてさまざまな人権問題をテーマに設定しているが、男女共同参画の推進をテーマとした講座の実施についても定期的に行えるよう地域公民館等との連携を図る。	A	人権推進室
2-8	差別を許さない人 材育成 (S T A R 事業)	21世紀を担う全ての子どもたちが、一人ひとりの人権を大切に、あらゆる差別を許さない子どもに成長することを願い、子どもたちを育成する。	年間5回の事業を実施。 ワークショップやヒューマンフェスタなどの事業を通じて、人権の視点で考え差別を許さず見逃さない心豊かな人権感覚を持ち行動できる子どもの育成をめざした。 テーマは障害のある人や相手のこと(気持ち)を考える。	参加者の学年も異なるため、身近な生活の中から考え、共通の学びにつながるような内容や進め方の工夫が必要である。	A	人権推進室
2-8	教育集会所たより	施設だよりの中で、個人として能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を図る内容の啓発文を掲載する。	男女共同参画週間等にあわせてさまざまな女性の人権問題について啓発文や事業の案内を掲載した。	引き続き、男女共同参画推進をテーマにした啓発文や事業のお知らせ等を掲載していく。	A	人権推進室
2-8	教育集会所におけ る啓発事業	女性問題、男女共同参画に関する内容で市民啓発として講演会を実施。	年間3回の人権講演会を教育集会所で実施、のべ67人の参加があった。 テーマは人権全般について地域課題や要望を踏まえて実施。 新型コロナウイルス感染症の影響により中止したところもあり、今年度については男女共同参画をテーマとしたものはなかった。	地域の実情に応じてさまざまな人権問題をテーマに設定しているが、男女共同参画の推進をテーマとした講座の実施についても検討していく。	A	人権推進室
2-8	地区公民館巡回講 座	・地域公民館や自治会で自主的に取組まれる人権学習に職員が出向き、啓発DVD等を活用した講座を実施。 ・DVDの選定にあたり、固定的な性別役割分担意識の解消に向けたテーマのものも候補とする。	年間13回の巡回講座を実施し、延べ451人の参加があった。ビデオ視聴ほか、人権講演会等で共に幸せを生きるまちづくりを進めるための講座を地区公民館主体で実施できた。 新型コロナウイルス感染症の影響もあり中止をしたところも多くあった。	地区公民館の主体的な活動として実施されているため、男女共同参画だけをテーマに講座を開催してもらうことは困難である。	A	人権推進室
2-10	差別を許さない人 材育成 (S T A R 事業)	21世紀を担う全ての子どもたちが、一人ひとりの人権を大切に、あらゆる差別を許さない子どもに成長することを願い、子どもたちを育成する。	年間5回の事業を実施。 ワークショップやヒューマンフェスタなどの事業を通じて、人権の視点で考え差別を許さず見逃さない心豊かな人権感覚を持ち行動できる子どもの育成をめざした。 テーマは障害のある人や相手のこと(気持ち)を考える。	参加者の学年も異なるため、身近な生活の中から考え、共通の学びにつながるような内容や進め方の工夫が必要である。	A	人権推進室
4-15	放課後児童クラブ	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し、放課後や学校休業日に見守りを行い、保護者の就労と子育ての両立を支援する。	全小学校区内：16箇所運営。 （直営：12箇所、委託：1箇所、補助：3箇所） 令和2年度登録児童数：1,588人 （R2年度 登録数）	利用児童の増加に伴う支援員（指導員）の確保、及び、個々の児童の見守りや指導に対応できる支援員の資質向上。	A	生涯学習課
5-17	福知山市企業人権 教育推進協議会での啓発	社会のあらゆる不公平と不合理を許さない企業活動の促進を図るため、企業の人権学習を推進、支援する。	企業内での女性の人権問題について講演会を実施。 ○女性問題研修会（9月） 「時は来た！ピンチをチャンスに変える働き方改革セミナー」 講師：OFFICE徳平 代表 社会保険労務士 徳平 勝正さん [参加：19人] ○企業内人権担当者研修会（2月） 「働く女性のライフステージと健康～女性の健康課題を正しく理解し、働く環境を整えるために～」 講師：一般社団法人女性労働協会 女性の健康経営アドバイザー 菅原 幸子さん ※京都府に緊急事態宣言が発令（1月14日）されたため中止 ○巡回視聴覚研修（97社）でも女性問題についての啓発DVD『フェアな会社で働きたい』『なぜ、企業に人権教育が必要なのか』『それぞれの立場 それぞれのきもち』『コール&レスポンスーハラスメントー』わからないから、確かめ合うーコミュニケーションを活用し学習した。	引き続き、研修会、ビデオ学習等、企業内での女性に関する人権問題等について理解を深めるための啓発を進める。	A	人権推進室
7-25	福知山市連合婦人 会：生涯学習講座	・中央・地域学区別にそれぞれの生涯学習講座を開催 ・年数回実施する研修の中に、男女共同参画の実現に向けたテーマを取り入れる。	年間7回の講座を計画したが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回が中止となり6回開催した。また、開催した講座も出席人数を制限して行ったため、のべ159人の出席となった。	参加者の高齢化と合わせて参加者のエリアが限定的になっている。コロナ禍での講座の開催等について検討していく必要がある。	A	生涯学習課

施策 番号	事業名	事業概要	実施結果 (具体的な数値を記入)	課題点・問題点	評価 A B C	担当課
4-16	高齢者教育推進事業	高齢者が自立し、いきいきとした生活と社会参加ができるための健康づくりや介護予防の推進を図る。又、参加者同士の仲間づくりの場とする。	実行委員会主催の高齢者大学（11回17講座）の実施の支援を行い、三和・夜久野・大江地域公民館では高齢者対象講座を実施した。	高齢者大学への支援を継続させるとともに、地域包括支援センターとの連携強化し、高齢者の健康づくりや介護予防の推進を図る活動を継続させる。公民館講座への参加者は一般講座でも高齢者の参画が多い。	B	中央公民館
4-16	高齢者人材活用事業	今まで培ってきた経験や知識を地域活動や学習に活かせる世代間交流と社会参加により地域への参画を推進する。	高齢者人材活用事業としての公民館人材銀行事業については、高齢者福祉課での介護支援サポーター制度等の創設もあり事業終了した。公民館講座で世代間交流や、講師として地元の高齢者の方に指導を願う活動は継続している。	公民館人材銀行事業終了により、高齢者教育推進事業と一体化した取組項目とする方が適切かと考える。	B	中央公民館
6-24	市立公民館運営事業	市立公民館運営審議会委員の選考方法に一般公募を取り入れ、積極的に女性登用を図る。	市立公民館運営審議会公募委員2名の女性を加え19人中6人が女性委員。30%の目標は達成した。	市民公募以外は団体推薦であり、団体としての推薦は男性が多い側面があるが、積極的に女性委員の登用を今後とも推進する。	B	中央公民館
1-1	DV被害者相談事業	相談員のスキルを向上させ、DV被害者の救済と適確な支援の入り口となるDV相談を行う。	相談員を1名配置し、被害者からの随時の相談に対応。192件	・相談対応する職員のスキルアップを図る。 ・DV等被害者情報の漏洩防止とDV等被害者の安全確保について庁内担当課職員の共通認識を深め、DV等被害者情報の管理体制を整備する。 ・京都府や警察等関係機関と連携を深め、被害者の保護救済にあたる。	A	人権推進室
1-1	DV防止啓発事業	11月の「女性に対する暴力をなくす運動期間」にあわせ、DVの実態や被害者へのサポート等に関する講座を実施し、啓発を行う。	11月の「女性に対する暴力をなくす運動期間」にDVと児童虐待をテーマにしたセミナーを実施。69名参加。 デートDV防止啓発のリーフレットを作成し市内の高校1年生に配布。	若年層に向けてデートDV防止の取組をすすめることができた。 大学や高校、中学校と連携した取り組みが必要。	A	人権推進室
1-1 2-9	デートDV防止ワークショップ	市内中学校及び高校を対象にデートDV防止ワークショップを実施。	中学生・高校生対象 3回実施（参加者 360名）	今後も引き続き、中学生及び高校生、教職員に向けた啓発を行っていく。	A	人権推進室
1-5	女性相談事業	女性が抱える様々な悩みについて、女性専門のカウンセラーが相談を受ける。 毎月1～3回実施。	年22回実施（1回3枠、66枠） 37人47件の相談があった。内容はDV被害について6人、家庭について6人、離婚について9人など。	コロナにより対面での相談ができないときは電話相談に切り替えるなど柔軟に対応した。 関係機関からの紹介もあり、周知も図られてきている。	A	人権推進室
1-5	女性弁護士による女性法律相談	複雑多様化する女性相談の内容に対応するため、女性弁護士が法律の側面から専門的な情報を提供し、問題の早期解決を図る。	年8回開実施（1回4枠、12枠） 相談人数24人		A	人権推進室
3-13	男性のための電話相談	様々な要因で植えつけられた性別役割分担意識によって、家庭や職場での人間関係等に悩む男性を対象に男性臨床心理士による相談を実施する。	年間4回実施。3人の相談があった。 生き方、夫婦関係についての相談。	相談人数は少ないが、男性臨床心理士だからこそ利用していたのであり、少ない回数でも継続する必要がある。	A	人権推進室
3-13	性別にこだわらない相談	性別に関わらず、男性、女性、性的マイノリティの人も誰もが、心の悩みを相談できる窓口として開設し、性のあり方を正しく理解し、多様性を受け入れる社会づくりの一助とする。	年間4回実施（1回3枠、計12枠） 相談人数0人（0件） ※女性相談の4回分を位置づけて実施	性別にとらわれず誰もが安心して相談できる窓口として、今後も継続してしていく必要がある。	A	人権推進室
1-5	立命館大学学生による法律相談	DV相談や離婚相談が増え、専門的な法律相談が必要になってきている。そのため官学協働で法律相談を開催することで十分な相談時間を確保し、市民ニーズに対応する。	年1回実施だが、今年度は大学側から実施依頼がなかった。		B	人権推進室
1-5	京都府関係機関との連携	警察、中丹西保健所、京都府北部家庭支援センター、京都府家庭支援総合センターなどと連携をとりながら相談支援活動を行う。	DV被害者の担当課と連携をとりながら、相談支援を行った。 京都府や警察署と定期的な連携会議を実施。（月1回）	DV被害者の支援だけでなく、同伴児童への支援も重要であり、児童相談所も含め、相談機関との連携をさらに強化していく必要がある。	A	人権推進室
1-6 2-8 3-12 4-14 5-20	はばたきセミナー	男女共同参画を推進するため、市民を対象とした啓発講座を実施することにより、男女共同参画への理解促進と意識の醸成を図る。	年2回の講座を開催。講座内容は、「家庭における男女共同参画」「DV児童虐待防止」について開催。 参加者合計 140名	今後も若年層や男性を含め幅広い層へ啓発していく必要がある。 市内の団体と共催し、実施するなど参加者増に努めたが、一層の参加者増のためには、広報の方法等の工夫が必要である。	A	人権推進室

施策 番号	事業名	事業概要	実施結果 (具体的な数値を記入)	課題点・問題点	評価 A B C	担当課
2-8	男女共同参画年次 報告書作成	男女共同参画の推進等に関する 施策の実施状況と効果等につ いて報告書を作成し、公表す る。	報告書を作成し公開した。	継続作成し男女共同参画の推進 啓発に努める。	A	人権推進室
2-8 28	広報ふくちやま	シリーズ人権等に掲載。掲載内 容は市民意識調査に基づいた男 女平等について、DVについ て、講演会や相談のお知らせな ど。	各戸配布 掲載内容：DV防止、女性相談、女 性法律相談、男性のための電話相 談、はばたきセミナー及びはばたき フェスティバル開催のお知らせ。	男女共同参画社会の実現に向け て、引き続きさまざまな問題に ついて啓発を推進する。	A	人権推進室
4-14	男性の料理教室	男性が料理をすることで、家庭 における男女共同参画を進め、 女性が地域で活躍できる場を増 やしていく。	新型コロナウイルス感染症拡大によ る緊急事態宣言発出に伴い、中止し た。		B	人権推進室
5-19	女性活躍セミナー	出産や子育て期をむかえた女性 が就労を継続でき、キャリア アップをめざすことができる職 場環境づくりのため、労働者側 と経営者側双方に対してそれぞ れ意識改革の研修を実施し、市 内企業における女性活躍の推進 を図る。	女性社員向け研修 (全2回、受講者延べ24名) 管理職・人事担当者向け研修 (1回、受講者7名)	女性の活躍推進については、女 性社員の意識改革だけでは実現 できないため、雇用者側へのア プローチが重要である。今後 も、商工団体等と連携し、企業 への積極的な参加を求め、労働 者と雇用者双方に向けた啓発を 実施していく。	A	人権推進室
2-10	差別を許さない人 材育成基本計画	各地区で計画実行されている人 材育成計画に男女共同参画の視 点を徹底する取り組みの実施。	会館・児童館・教育委員会が連携し て各地区において、人権尊重を基本 とした人材育成の計画を策定した。 進行についてヒアリングによる事業 点検を行い、進行管理している。 ヒアリング結果等を全体で共有し、 人材育成の取り組みを進めることが できた。	男女共同参画に焦点化した取組 みについて検討するとともに、 理解を深める啓発を継続してい く。	A	人権推進室
2-10	男女共同参画人材 育成事業	教育現場および市職員の男女共 同参画推進に資する人材育成の 実施。	専門研修を積極的に受講するなどの 育成に努め、相談員としてのスキル を向上させている。	人材育成を継続していく。	A	人権推進室
1-2 5-18 6-23	はばたき企業啓発 事業セミナー	男女共同参画社会の実現に向け た啓発として市内事業所を対象 にセミナーを実施。	福知山市企業人権教育推進協議会と の共催により、事業所の人権研修担 当者等を対象に「働き方改革」につ いてのセミナーを実施。(参加者 計40人)	商工会議所などと連携しさらに 広く啓発する必要がある。ま た、広報等により、効果的な啓 発を検討していく必要がある。	A	人権推進室
7-25	はばたきフェス ティバル	女性団体等で構成された実行委 員会による企画運営を行う。講 演会、グループワーク、作品展 示等の実施により市民への男女 共同参画への啓発をするともに に交流の場とする。	「ともに尊重、ともに参加～ひろげ よう男女共同参画の輪」をテーマに 「第23回はばたきフェスティバル」 を実行委員会による企画、運営にお いて、講演会を実施する予定だった が、新型コロナウイルス感染症拡大 による緊急事態宣言の発出に伴い中 止となった。		B	人権推進室
7-25	女性団体ネット ワーク	男女共同参画社会の実現に向け た取り組みを推進するため、 ネットワーク会議やはばたきブ ランに基づく研修会や意見交流 会及び学習会等を実施する。	3回のネットワーク会議を実施。 パープルリボンによる展示物を作成 した。図書館中央館、ハビネスふく ちやま1階・3階、各支所、京都銀行 福知山支店、京都北都信用金庫福知 山中央支店で展示を実施。 学習会を2回実施。福知山市の男女 共同参画推進について、DVや選択 的夫婦別姓制度について理解を深め る機会となった。	女性団体ネットワークの関心の あるテーマを選定することで、 理解もより深まり、地域での次 の活動へとつながる満足度が得 られた。 今後もネットワークのニーズを 把握し、身近なテーマでわかり やすい内容のものを選定し、参 加者増を図る。	A	人権推進室
1-5	人権相談(随時)	広く人権にかかる相談の場とし て実施。	年間52件の相談を受ける。(うち女 性からの相談29件)	人権相談を実施した。	A	人権推進室
1-5	人権相談・心配ごと 相談	広く人権にかかる相談の場とし て、福知山人権擁護委員協議会 が実施している特設人権相談・ 心配ごと相談の支援。	年間52回の実施計画のうち40回の特 設相談を開催し、12件の相談を受け る。(うち女性からの相談9人)	コロナウィルス対策や台風等の 関係で、全ての相談が開催され ることはなかったが、相談に対 する支援は適切に行えた。	A	人権推進室
1-8	人権ふれあいセン ターだより	各施設だよりの中で、個人とし て能力を発揮できる男女共同参 画社会の実現を図る内容の啓発 文を掲載する。	人権ふれあいセンター等で毎月発行 しているたよりの中で、男女共同参 画推進に向けての啓発文、事業のお 知らせを掲載した。	引き続き、男女共同参画推進を テーマにした啓発文や事業のお 知らせ等を掲載していく。	A	人権推進室

施策 番号	事業名	事業概要	実施結果 (具体的な数値を記入)	課題点・問題点	評価 A B C	担当課
2-8	人権関係施設における啓発事業	女性問題、男女共同参画に関する内容で市民啓発として講演会を実施。	L G B Tに関する講演会（年間1回）を行い、性別にとらわれない生き方について市民啓発を行うことができた。 （参加者数 66人） はばたきセミナー等の広報啓発を行った。	さまざまな人権問題に関する講演会を実施しており、計画的なテーマ設定による各施設での講演会を行う必要がある。 年間を通じて、男女共同参画に関するパネル展示を実施する。 来館者が多い事業に併せ、意識的に男女共同参画をテーマとした展示等を実施する。	A	人権推進室
2-8	高齢者教室	人権ふれあいセンター、教育集会所で実施する高齢者教室で、全ての人が性別による差別を受けない男女共同参画社会の推進を図る学習を推進するとともに、健康づくり効果、生きがい対策事業を実施し、高齢者の積極的な社会参加の促進を図る。	高齢者デイサービス事業や手芸・創作教室等の文化教養講座を実施する中で、男女共同参画社会推進に向けた話題提供を行うなど事業を進めてきた。	女性の人権をテーマにした事業内容に工夫を凝らし、みんなで男女共同参画について考える機会を設けていく。	A	人権推進室
3-13	健康相談	人権ふれあいセンター等において定期的に健康相談を実施。	地元市民の方を対象に、保健師・栄養士による健康相談や健康教室を定期的に実施した。	行事等を利用し、市民のニーズに合わせて健康相談・健康教室を実施していく。相談後、配慮の必要な相談者には連携して声かけを行う。	A	人権推進室
5-19	人権ふれあいセンター等における就職相談	・就職の相談に応じるだけでなく、女性の能力開発、学習の場の提供に努める。	人権ふれあいセンター職員がハローワークやジョブパークを訪問し、説明を受けるなど連携を深め、相談対応や情報提供を行った。（必要に応じてハローワークへの同行訪問なども実施する）また、人権ふれあいセンターにおいて、パソコン教室を実施し、女性の能力開発、学習の場を提供した。	今後もジョブパークや府若者就業支援センター等と連携をより深め、女性の能力開発、学習の場の提供に努める。	A	人権推進室

令和2年度 男女共同参画推進にかかる事業調査結果(全部署及び関係する全部署関係)

施策番号	事業名	事業概要	実施結果 (具体的な数値を記入)	課題点・問題点
1-1	相談窓口の周知事業	女子トイレや窓口だけでなく、各施設で手に取りやすい場所に「DV相談支援カード」を設置する。	・相談カード設置箇所数 782箇所(3月末現在) ・子育て支援として個別対応する中で、ケースの個々の状況に応じて窓口を案内し、相談に繋げている。	
2-7	市刊行物における表現の配慮	男女共同参画の視点から、市の刊行物の表現を点検する。	・各種刊行物の発行に当たっては、課内研修を実施する、課内全員で点検するなど、男女共同参画の視点から表現・イラスト等に配慮した作成に努めた。	男女共同参画について理解し、互いに尊重し合う人権意識をもち表現できるように、常に職員間で研鑽を積む。
2-10	市職員研修	年間計画の中で男女共同参画に関する部課内研修や派遣研修を行うことにより、職員の人権意識の高揚やジェンダーに敏感な視点を養う。	男女共同参画に関する部課内研修の実施は延べ21回となっている。	部課内研修の実施内容について分析し、効果的な内容については庁内で共有してもよいと考える。
5-17	超過勤務の縮減	労働時間の短縮により仕事と家庭の両立支援を図り、健康で豊かな生活を送るワーク・ライフ・バランスが実現した社会を目指す。 ・幹部職員が率先した定時退庁 ・超過勤務時間の縮減のための意識啓発等 ・ノー残業デーの実施、強化 ・業務改善	令和2年度一人当たり超過勤務実績については、14.0時間となっている。 ノー残業デーの完全実施については、令和元年度以降の取組(課長の報告を受けて部長が退庁するシステム)により、ほぼ100%の実施率になっている。	超過勤務の縮減について効果的な対策がとれていない。
5-17	次世代育成支援対策特定事業主行動計画の推進	・次世代育成支援に係る啓発資料の作成、配布 ・育児休業等の取得促進、取得後の円滑な職場復帰の支援 ・男性職員による積極的な制度の活用 ・代替要員の確保 ・家庭・男女の役割についての意識啓発 ・超過勤務の縮減 ・休暇の取得促進 子育てを行う女性職員の活躍推進に向けた取組(女性職員を対象とした取組、管理職等を対象とした取組)	男性の育休については、取得者が増えている状況である。 令和2年度については、育休任期付き職員の採用など、育休を取得しやすい環境整備に努めている。	引き続き、育休を取得しやすい制度の運用を図り、男性の育休取得を推進する必要がある。
6-21	審議会等への女性委員の登用	行政委員会、審議会等市長の付属機関、その他の協議会への積極的な女性の登用。	・審議会等への女性の参画状況29.8%(3月末現在)	
6-21	各種計画、方針決定等への市民意見の反映	パブリックコメント等を用い、計画立案時や意思決定時に、市民の意見を反映できる手法の確立。	計画策定時には、市民アンケートやパブリックコメントの実施により、市民の意見の反映を図った。	実効性のある計画の策定、方針決定のためには、引き続き市民の意見を反映させるための手法を検討する必要がある。
6-22	市幹部職員への女性登用	・女性が働きやすい環境を整備し、女性の管理職登用を積極的に進め、女性管理職比率の維持・向上を図る。(女性職員比率33%) ・女性職員に対する多様なロールモデル(模範となる職員)、キャリアパス(目標となる職位や職務に就くために必要な一連の業務経験やステップ・配置異動などのルール)の紹介や女性同士のネットワークの構築を進める取組並びに本市キャリアアップサポート(人事考課制度)の効果的活用により、女性が昇進意欲を持てるよう支援するとともにマネジメント力の向上に努める。	令和2年度の係長以上の女性職員の割合は31.0%であり、課長以上の女性職員の割合は23.9%となっている。	引き続き、女性が働きやすい環境を整備する必要がある。
6-22	女性の職域拡大、職務分担の見直し	職務分担や職場習慣において、性別による偏りがないか、偏りが職場慣行として定着していないかを点検し、必要に応じ見直しを行う。	現在性別による職務分担や配置は行っていない。	偏りは是正されている。 性別による偏りがあれば、見直しを随時行う。

資 料

審議会等への女性の参画状況調査表

令和3年3月31日現在

行政委員会等 (自治法第180条の5)

() 内令和2年3月31日現在

	名 称	総数	内女性数	2年度比率	元年度比率
1	教育委員会	4 (4)	2 (2)	50.0%	50.0%
2	選挙管理委員会	4 (4)	2 (1)	50.0%	25.0%
3	公平委員会	3 (3)	1 (1)	33.3%	33.3%
4	監査委員	2 (2)	0 (0)	0.0%	0.0%
5	農業委員会	19 (19)	2 (3)	10.5%	15.8%
6	固定資産評価審査委員会	6 (6)	1 (1)	16.7%	16.7%
	計 6	38 (38)	8 (8)	21.1%	21.1%

附属機関 (自治法第202条の3、条例で設置されている審議会、協議会等)

7	防災会議	14 (14)	0 (0)	0.0%	0.0%
8	民生委員推薦会	9 (9)	2 (2)	22.2%	22.2%
9	国民健康保険運営協議会	16 (16)	5 (5)	31.3%	31.3%
10	公民館運営審議会	19 (18)	6 (4)	31.6%	22.2%
11	図書館協議会	12 (12)	8 (7)	66.7%	58.3%
12	青少年問題協議会	22 (21)	3 (2)	13.6%	9.5%
13	都市計画審議会	17 (17)	0 (0)	0.0%	0.0%
14	文化財保護審議会	11 (11)	2 (2)	18.2%	18.2%
15	介護認定審査会	50 (50)	25 (25)	50.0%	50.0%
16	社会教育委員会	8 (10)	3 (4)	37.5%	40.0%
17	スポーツ推進委員会	25 (23)	12 (11)	48.0%	47.8%
18	学校保健衛生対策委員会	13 (14)	9 (8)	69.2%	57.1%
19	特別職報酬等審議会	9 (9)	4 (4)	44.4%	44.4%
20	市営住宅入居者選考委員会	9 (10)	2 (2)	22.2%	20.0%
21	農村計画審議会	18 (18)	5 (4)	27.8%	22.2%
22	予防接種健康被害調査委員会	6 (6)	0 (0)	0.0%	0.0%
23	明るい選挙推進協議会	59 (60)	8 (9)	13.6%	15.0%
24	環境審議会	10 (10)	2 (2)	20.0%	20.0%
25	高齢者対策協議会	24 (24)	6 (7)	25.0%	29.2%
26	公務災害補償等認定委員会	5 (5)	3 (3)	60.0%	60.0%
27	公務災害補償等審査会	3 (3)	1 (1)	33.3%	33.3%
28	少年補導センター運営委員会	20 (21)	7 (7)	35.0%	33.3%
29	休日急患診療所運営委員会	6 (6)	0 (0)	0.0%	0.0%
30	病院事業運営協議会	11 (11)	1 (1)	9.1%	9.1%
31	情報公開・個人情報保護審査会	5 (5)	1 (1)	20.0%	20.0%
32	福知山市国民保護協議会	25 (25)	1 (1)	4.0%	4.0%
33	男女共同参画審議会	10 (9)	6 (5)	60.0%	55.6%
34	障害者介護給付費等支給認定審査会	5 (5)	1 (1)	20.0%	20.0%
35	福知山市法令遵守審査会	3 (3)	1 (1)	33.3%	33.3%
36	福知山市子ども・子育て会議	14 (14)	10 (8)	71.4%	57.1%
37	福知山市景観審議会	16 (16)	4 (4)	25.0%	25.0%

	名 称	総数	内女性数	2年度比率	元年度比率
38	福知山市展運営委員会	14 (14)	1 (1)	7.1%	7.1%
39	福知山老人ホーム入所判定委員会	5 (5)	0 (1)	0.0%	20.0%
40	福知山市健康づくり推進協議会	15 (15)	2 (2)	13.3%	13.3%
41	福知山市人権問題協議会	28 (28)	5 (8)	17.9%	28.6%
42	福知山市地域包括支援センター運営協議会	11 (11)	5 (5)	45.5%	45.5%
43	福知山市地域自立支援協議会	24 (24)	6 (4)	25.0%	16.7%
44	福知山市地域公共交通会議	16 (13)	0 (0)	0.0%	0.0%
45	福知山市入札監視委員会	3 (3)	1 (1)	33.3%	33.3%
46	福知山市入札制度改革等検討委員会	4 (4)	0 (0)	0.0%	0.0%
47	福知山市医師養成確保奨学金等貸与決定等審査会	4 (4)	0 (0)	0.0%	0.0%
48	福知山市有償運送運営協議会	21 (21)	2 (2)	9.5%	9.5%
49	福知山市行政改革推進委員会	6 (7)	2 (2)	33.3%	(28.6%)
50	福知山市ジュニア文化賞選考委員会	9 (9)	2 (1)	22.2%	(11.1%)
51	指定管理者選定等委員会	19 (17)	0 (2)	0.0%	(11.8%)
52	福知山市子ども発達支援相談ステーションくりのみ園運営委員会	12 (12)	8 (8)	66.7%	(66.7%)
53	福知山市地産地消推進協議会	— (19)	— (4)	—	(21.1%)
54	福知山市教育支援委員会	108 (124)	64 (72)	59.3%	(58.1%)
55	福知山市いじめ防止対策委員会	4 (4)	2 (2)	50.0%	(50.0%)
56	スポーツ賞選考委員会	7 (7)	1 (1)	14.3%	(14.3%)
57	公立大学法人福知山公立大学評価委員会	5 (5)	1 (1)	20.0%	(20.0%)
58	福知山市行政不服審査会	3 (3)	1 (1)	33.3%	(33.3%)
59	指定管理者制度第三者評価委員会	5 (5)	0 (0)	0.0%	(0.0%)
60	福知山市営住宅PFI事業者選定委員会	5 —	1 —	20.0%	—
	計 54	797 (829)	241 (249)	30.2%	30.0%

附属機関（条例で設置されている審議会・協議会等で常設でないもの）

福知山市三和荘運営審議会	— —	— —	—	—

合計	835 (867)	249 (257)	29.8%	29.6%
----	-----------	-----------	-------	-------

地域振興部、産業政策部、教育委員会事務局の所管施設が該当（資産活用課からの聞き取りにより、各委員会委員数把握の上、合算して計上）いずれも内部職員2名+4名外部委員の6名で構成

福知山市行政委員会及び附属機関以外の協議会等への女性の参画状況調査表

1. 委員会・協議会（要綱・規程等で設置されているもの）（ ）内は令和元年3月31日現在

	名 称	委員数	内女性数	比率	任期	要綱等 の有無	選出方法
1	福知山市市民憲章推進協議会	23 (24)	5 (5)	21.7% (20.8%)	2	有	立候補
2	福知山市献血推進協議会	65 (65)	3 (4)	4.6% (6.2%)	2	有	各団体より選出
3	人にいちばん近いまちづくり広報啓発部会	9 (10)	4 (3)	44.4% (30.0%)	1	有	各団体より選出
4	神谷開発委員会	17 (17)	0 (0)	0.0% (0.0%)	1	有	市長の任命・委嘱
5	福知山緑化推進委員会	22 (22)	3 (3)	13.6% (13.6%)	1	有	推薦
6	福知山市要保護児童対策地域協議会	26 (25)	8 (8)	30.8% (32.0%)	2	有	推薦
7	福知山市有害鳥獣対策協議会	19 (19)	0 (0)	0.0% (0.0%)	2	有	推薦
8	福知山市夜久野町養豚団地環境保全委員会	13 (13)	1 (2)	7.7% (15.4%)	2	有	市長の委嘱
9	福知山市まち・ひと・しごと・あんしん創生有識者会議	6 (6)	0 (0)	0.0% (0.0%)	1	有	産官学金労言各分野より選出
10	福知山市ダイオキシン類対策委員会	7 (7)	1 (1)	14.3% (14.3%)	2	有	市長の任命または委嘱
11	福知山市職員分限懲戒等審査会	5 (5)	0 (0)	0.0% (0.0%)	1	有	市長が委嘱
12	福知山市鉄道利用増進協議会	15 (15)	1 (1)	6.7% (6.7%)	—	有	団体代表
13	福知山市生活安全推進協議会	23 (24)	1 (3)	4.3% (12.5%)	—	有	団体代表
14	福知山市暴力追放推進協議会	36 (36)	1 (1)	2.8% (2.8%)	—	無	団体代表
15	福知山市空家対策協議会	10 (10)	2 (2)	20.0% (20.0%)	2	有	団体推薦
16	福知山市住民自治検討会議	— —	— —	— —	1	有	団体推薦及び市民公募
19	福知山市文化芸術振興基本方針策定委員会	— —	— —	— —	2	有	文化分野から選出及び市民公募
20	福知山市スポーツ推進計画意見聴取会議	— —	— —	— —	2	有	スポーツ分野から選出及び市民公募
21	福知山市自治基本条例推進委員会	8 (8)	2 (1)	25.0% —	2	有	団体推薦及び市民公募
22	福知山市鉄道館ポッポランドのあり方検討委員会	— —	— —	— —	—	有	鉄道、商業、学校から選出と公募
23	福知山市自殺対策協議会	17 (17)	2 (2)	11.8% —	3	有	市長が委嘱
24	福知山市手話言語・障害のある人の多様なコミュニケーション施策推進会議	15 (15)	8 (9)	53.3% —	3	有	市長が委嘱
25	福知山市鬼の里Uターンプラザ運営委員会	9 (9)	2 (2)	22.2% —	2	有	市長が委嘱
	合 計	296 (298)	30 (33)	10.1% (11.1%)			

新たに設置されたもの

	名 称	委員数	内女性数	比率	任期	要綱等 の有無	選出方法
26	福知山市避難のあり方検討会	18 —	0 —	0.0% —	1年4か月	有	関係機関からの推薦
27	福知山市文化振興基本方針懇話会	11 —	2 —	18.2% —	2	有	文化分野から選出・市民公募
28	福知山市上下水道事業経営審議会	10 —	1 —	10.0% —	3	有	団体推薦及び市民公募
	合 計	659 (645)	74 (80)	11.2% (12.4%)			

2. 職員による内部組織

	名 称	委員数		内女性数		比率		任期	要綱等 の有無	選出方法
1	福知山市経営会議	18	(19)	2	(1)	11.1%	(4.8%)	—	有	庁内充職
2	福知山市課長会議	18	(18)	0	(2)	0.0%	(15.8%)	—	有	〃
3	福知山市事務改善委員会	18	(18)	0	(2)	0.0%	(15.8%)	—	有	〃
4	福知山市IT推進本部会議	19	(20)	2	(1)	10.5%	(4.3%)	—	有	〃
5	福知山市安全衛生委員会	10	(9)	4	(2)	40.0%	(22.2%)	1	有	市長の任命、職員 団体推薦
6	福知山市職員表彰審査委員会	7	(7)	0	(0)	0.0%	(0.0%)	1	有	市長の任命
7	福知山市職員互助会理事会	13	(13)	3	(5)	23.1%	(46.2%)	2	有	選挙による
8	福知山市健康危機管理対策本部	23	(23)	1	(1)	4.3%	(4.0%)	無期限	有	各所選出
9	福知山市保健師連絡会	40	(39)	39	(38)	97.5%	(94.4%)	無期限	無	
10	福知山市男女共同参画推進会議	20	(22)	6	(8)	30.0%	(40.0%)	—	有	任命
11	福知山市男女共同参画推進会議幹事会	11	(11)	6	(6)	54.5%	(50.0%)	2	有	各部からの選出
12	福知山市職員人権人材バンク（第7期）	20	(20)	7	(7)	35.0%	(31.8%)	1	有	部推薦
13	福知山市人権施策推進本部	20	(20)	2	(1)	10.0%	(0.0%)	1	有	充職
14	福知山市人権施策推進会議	18	(19)	2	(1)	11.1%	(0.0%)	1	有	充職
15	職員社会啓発部会	10	(10)	1	(0)	10.0%	(10.0%)	1	有	充職
16	福知山市消防本部消防職員委員会	9	(9)	0	(0)	0.0%	(0.0%)	1	有	消防長の指名、所 属職員の推薦
17	福知山市消防安全衛生委員会	9	(9)	0	(0)	0.0%	(0.0%)	1	有	消防長の任命
18	福知山市上下水道部安全衛生委員会	7	(7)	0	(0)	0.0%	(0.0%)	1	有	管理者が任命、労 働組合推薦
19	市立福知山市民病院安全衛生委員会	10	(10)	3	(3)	30.0%	(40.0%)	1	有	委嘱
20	福知山市自治功労者表彰審査委員会	5	(5)	0	(0)	0.0%	(0.0%)	1	有	副市長・部長・教 育長・市議会推薦
21	福知山市牛海綿状脳症（BSE）等対策協議会	—	(10)	—	(0)	—	(0.0%)	—	有	
22	福知山市牛海綿状脳症（BSE）等対策本部	—	(10)	—	(0)	—	(0.0%)	—	有	
23	福知山市法令遵守推進委員会	18	(20)	2	(1)	11.1%	(0.0%)	2	有	規則で委員が規定
24	人材育成部会	6	(6)	2	(1)	33.3%	(0.0%)	1	有	庁内充職
25	福知山市建設工事等指名選定員委員会	10	(10)	0	(0)	0.0%	(0.0%)	1	有	庁内充職
26	福知山市高病原性鳥インフルエンザ対策協議会	—	(10)	—	(0)	—	(0.0%)	—	有	
27	福知山市高病原性鳥インフルエンザ対策本部	—	(10)	—	(0)	—	(0.0%)	—	有	
28	福知山市新型インフルエンザ等対策本部	25	(27)	2	(1)	8.0%	(4.5%)	無	有	庁内充職
29	福知山市元氣出す地域活力支援事業補助金選考委員会	6	(6)	0	(0)	0.0%	(0.0%)	無	有	庁内充職
	合 計	370	(417)	84	(81)	22.7%	(19.4%)			

新たに設置されたもの

	名 称	委員数		内女性数		比率		任期	要綱等 の有無	選出方法
	建設工事等指名競争入札参加者資格審査会	10	—	0	—	0.0%	—			
	合 計	380	(417)	84	(81)	22.1%	(19.4%)			

重要項目の数値目標に対する実績(はばたきプラン2011 後期計画 第4章)

課題	項目	現 状 (プラン策定時)	2020年度目標 (平成32年度)	令和2年度実績	備 考
女性 暴力に 対する 根絶の 重と	相談窓口案内 カードの設置場所	315か所 (平成27年度)	500か所	782か所	
働く場・地域における 男女共同参画の推進	男性市職員の 育児休業の取得者数	4人 (平成28年3月31日 現在)	10人	11人	プラン策定時からの累計
	ワーク・ライフ・バランス の推進に向けた市職員 の残業時間の削減	一人当たり 17.1時間/月 (平成27年度)	一人当たり 12時間/月	一人当たり 14時間/月	
	男性市職員の 部分休業の取得者数	1人 (平成28年3月31日 現在)	15人	1人	プラン策定時からの累計
の政 場策 参へ・ 画の方 の女針 促性決 進の定	審議会等の女性比率	25.6% (平成28年3月31日 現在)	30%	29.8%	
	女性委員のいない 審議会数	16 (平成28年3月31日 現在)	4	11	
	市役所の係長級以上の 女性職員比率	30.6% (平成28年3月31日 現在)	33.0%	31.0%	

福知山市男女共同参画推進条例

目次

- 第1章 総則（第1条―第7条）
- 第2章 基本的施策（第8条―第17条）
- 第3章 男女共同参画を阻害する行為の制限等（第18条―第21条）
- 第4章 福知山市男女共同参画審議会（第22条）
- 第5章 雑則（第23条）
- 附則

第1章 総則

（目的）

第1条 この条例は、男女共同参画の推進に関する基本理念を定め、本市並びに市民、事業者及び教育に携わる者の責務を明らかにするとともに、男女共同参画の推進に関する施策の基本的事項を定めることにより、その施策を総合的かつ計画的に実施し、性別による差別のない真に人権が尊重された男女共同参画社会を実現することを目的とする。

（定義）

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 男女共同参画 男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に社会の利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべきことをいう。
- (2) 積極的改善措置 社会のあらゆる分野における活動に参画する機会についての男女間の格差が生じている場合において、その格差を是正するため必要な範囲内で、男女のいずれか一方に対し、当該機会を積極的に提供することをいう。
- (3) 市民 市内に住所を有する者、勤務する者及び在学する者をいう。
- (4) 事業者 営利又は非営利を問わず、市内において事業を行う個人、法人その他の団体をいう。
- (5) 教育に携わる者 市内において学校教育その他の生涯にわたる教育の分野において教育活動を行う者をいう。
- (6) 市民等 市民、事業者及び教育に携わる者をいう。
- (7) セクシュアル・ハラスメント 相手の意に反する性的な言動により相手方の生活環境を害すること又は相手の意に反する性的な言動に対する相手方の対応によってその者に不利益を与えることをいう。
- (8) ドメスティック・バイオレンス 夫婦間及び恋愛関係にある男女間その他の親密な関係にある男女間における身体的又は精神的な苦痛を与える暴力その他心身に有害な影響を及ぼす言動をいう。

（基本理念）

第3条 男女共同参画は、次に掲げる事項を基本理念として推進されなければならない。

- (1) 男女が、性別による差別的取扱いを受けることなく、互いにその人権を尊重すること。
- (2) 男女が、個人としての尊厳が重んじられ、一人一人がその個性と能力を社会のあらゆる分野で発揮できる機会が確保され、自立した個人として自己

の意思によって行動し、かつ、責任を負うこと。

- (3) 社会における制度又は慣行が、性別による固定的な役割分担等によって、男女の社会における活動の自由な選択に対して影響を及ぼすことのないよう配慮されること。
- (4) 男女が、社会の対等な構成員として、社会のあらゆる分野における方針の立案及び決定に共同して参画する機会が確保されること。
- (5) 家族を構成する男女が、互いの人格を尊重し、相互の協力と社会の支援の下に、家庭生活における活動について家族の一員としての役割を果たし、かつ、当該活動以外の活動と両立ができるようにすること。
- (6) 学校教育その他の生涯にわたる教育において、性別にとらわれず個人としての能力と適性がはぐくまれることを基本とした取組が図られること。
- (7) 男女が互いの性についての理解を深め、妊娠、出産その他性と生殖に関して、自己決定が尊重され、かつ、生涯を通じて健康な生活を営む権利が確保されること。
- (8) 男女共同参画の推進は、国際社会における取組との協調の下に行われること。

（本市の責務）

第4条 本市は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）のっとり、男女共同参画の推進に関する施策（積極的改善措置を含む。以下同じ。）を総合的に策定し、実施しなければならない。

2 本市は、男女共同参画の推進に当たり、市民等及び国、京都府その他の地方公共団体と相互に連携及び協力を図るよう努めなければならない。

（市民の責務）

第5条 市民は、基本理念のっとり、家庭、地域、職場、学校その他の社会のあらゆる分野において、自ら進んで男女共同参画の推進に努めるとともに、本市が実施する男女共同参画の推進に関する施策に協力するよう努めなければならない。

（事業者の責務）

第6条 事業者は、基本理念のっとり、その事業活動を行うに当たり男女共同参画の推進に努めるとともに、本市が実施する男女共同参画の推進に関する施策に協力するよう努めなければならない。

（教育に携わる者の責務）

第7条 教育に携わる者は、男女共同参画社会の形成に果たす教育の重要性を考慮し、その教育活動を行うに当たり基本理念に配慮した教育の推進に努めなければならない。

2 教育に携わる者は、本市が実施する男女共同参画の推進に関する施策に協力するよう努めなければならない。

第2章 基本的施策

（男女共同参画に関する基本的な計画）

第8条 市長は、男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、男女共同参画に関する基本的な計画（以下「基本計画」という。）を策定するものとする。

2 市長は、基本計画を策定するに当たっては、第22条第1項に規定する福知山市男女共同参画審議会に諮問

するものとする。

3 市長は、基本計画を策定したときは、速やかにこれを公表するものとする。

4 市長は、必要に応じ基本計画を変更するものとする。

5 第2項及び第3項の規定は、基本計画の変更について準用する。

（教育及び人材育成）

第9条 本市は、学校教育その他の生涯にわたる教育を通じて、男女共同参画の推進に努めるものとする。

2 本市は、男女共同参画を推進する指導者を育成するため、研修の実施その他必要な措置を講ずるものとする。

（市民等との協働）

第10条 本市は、市民等が行う男女共同参画の推進のための活動を促進するため、必要に応じ市民等と協力して活動するものとする。

（雇用の分野における男女共同参画の推進）

第11条 本市は、事業者に対し、その雇用における男女共同参画の推進に向けた活動を支援するため、学習機会の設定及び情報の提供その他必要な措置を講ずるものとする。

2 市長は、事業者に対し、男女共同参画の推進に関する取組の状況について必要に応じ報告を求めることができる。

（財政上の措置）

第12条 本市は、男女共同参画の推進に関する施策を推進するため、必要な財政上の措置を講ずるものとする。

（情報の収集及び調査研究）

第13条 本市は、男女共同参画の推進に関する施策を効果的に実施するため、必要な情報の収集及び調査研究を行うものとする。

（年次報告）

第14条 市長は、毎年、男女共同参画の推進に関する施策の実施状況及び効果について報告書を作成し、これを公表するものとする。

（行政委員会等の委員への女性の登用）

第15条 本市は、執行機関である委員会の委員若しくは委員又は附属機関である審議会等の委員その他の構成員の任命又は委嘱に当たっては、政策の決定過程への女性の参画を推進するため、積極的改善措置を講ずることにより、女性の登用を図るものとする。

（推進体制）

第16条 本市は、男女共同参画の推進に関する施策を総合的に企画し、調整し、及び実施するために必要な体制を整備するものとする。

（拠点施設）

第17条 本市は、男女共同参画の推進に関する施策を実施し、及び市民等が行う男女共同参画の推進に関する活動を支援するための施設の整備に努めるものとする。

第3章 男女共同参画を阻害する行為の制限等

（性別による人権侵害の禁止）

第18条 何人も、社会のあらゆる分野において、直接的又は間接的であるかを問わず、性別を理由とする差別的取扱いを行ってはならない。

2 何人も、職場、学校、地域その他のあらゆる場におい

て、セクシュアル・ハラスメントを行ってはならない。

3 何人も、個人の尊厳を踏みにじるドメスティック・バイオレンスを行ってはならない。

（公衆に表示する情報に関する留意事項）

第19条 何人も、公衆に表示する情報において、性別による固定的な役割分担及び性的な暴力を助長させる表現並びに過度の性的な表現を行わないように努めなければならない。

（苦情等の申出への対応）

第20条 市民等は、本市が実施する男女共同参画の推進に関する施策又は男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められる施策に関する苦情、意見、要望等があるときは、本市に申し出ることができる。

2 本市は、前項の申出を受けたときは、必要に応じ第22条第1項に規定する福知山市男女共同参画審議会の意見を聴き、関係機関と連携し、適切な措置を講ずるものとする。

（相談の申出への対応）

第21条 本市は、性別による差別的取扱いその他の男女共同参画の推進を阻害する人権の侵害に関する市民等からの相談の申出に対し、相談体制を整備し、関係機関と連携及び協力を行い、当該被害者を救済する等必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

第4章 福知山市男女共同参画審議会

（福知山市男女共同参画審議会）

第22条 男女共同参画に関する重要な事項を調査審議するため、福知山市男女共同参画審議会（以下この条において「審議会」という。）を置く。

2 審議会は、第8条第2項（同条第5項において準用する場合を含む。）及び第20条第2項に規定する事項を調査審議するほか、市長の諮問に応じ、男女共同参画の推進に関する事項を調査審議する。

3 審議会は、前項の規定による調査審議のほか、男女共同参画の推進に関する事項について市長に意見を述べるることができる。

4 審議会は、市長が委嘱する委員10人以内をもって組織する。

5 男女のいずれか一方の委員の数は、総数の10分の4未満であってはならない。

6 委員の任期は、2年とし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

第5章 雑則

（委任）

第23条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

（施行期日）

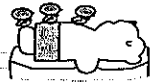
1 この条例は、平成18年10月1日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行の際現に策定されている福知山市男女共同参画計画は、第8条第1項の規定により策定された基本計画とみなす。



はばたき



男女共同参画週間 6月23日～29日

令和2年度 男女共同参画週間キャッチフレーズが決定！



最優秀作品 「そっか。いい人生は、いい時間の使い方なんだ」

最優秀作品 「ワクワク・ライフ・バランス」

6月23日～29日までの一週間は男女共同参画週間です。自分らしい人生を実現するために、時間をどう使っていくのか。それを家族や地域、社会はどう後押ししていくのか。それを社会全体で考えるきっかけとなるキャッチフレーズが応募総数2,615点の中から選ばれました。

男女共同参画週間には、福知山市男女共同参画センターでも関連した展示を行います。ぜひ、この機会をきっかけに男女共同参画を考えてみませんか？

実現しよう！ワーク・ライフ・バランス



★ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは？

一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる状態を言います。仕事は暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらすものですが、同時に家事・育児、近隣との付き合いなどの生活も暮らしに欠かすことのできないものであり、その充実があってこそ人生の生きがい・喜びは倍増します。ワーク・ライフ・バランスとは、社会のすべての人にとって非常に重要な概念です。

★なぜ今ワーク・ライフ・バランスなのか？

現実の社会には、安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない、仕事に追われ、心身の疲労から体調を崩す、仕事と育児・介護の両立に悩むなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多くいます。これらが、働く人々の将来への不安や働きがいが実感できない大きな要因となっており、社会の活力低下や少子高齢化・人口減少という現象にまで繋がっていると云えます。

そこで「働き方」を見直し、生活面の様々なニーズとアンバランスを解消する取組が必要となっています。

これは、ワーク・ライフ・バランスが実現できていない現状です。このような状況では、自分らしい働き方や生き方を自由に選択することはできません。

★ワーク・ライフ・バランスの現実と理想のギャップ

福知山市の男女共同参画に関する市民意識調査の結果をみても、理想において「仕事を優先したい」との回答は全体で2.8%と少なく、現実では「仕事を優先している」との回答が18.3%ありました。また、理想においては、「仕事と家庭・個人の生活をともに優先したい」との回答が31.8%ありましたが、現実では20.5%となり、ワーク・ライフ・バランスの理想と現実と大きな意識の差がみられました。

★自分らしく生きるために

すべての人が自分らしい働き方や生き方を選択するためには、多様性を認める環境づくりなど企業や行政の取組が重要になってきます。しかし、たとえ社会の環境が整備されても、私たち一人ひとりの意識が変わらなければ、ワーク・ライフ・バランスは実現できません。まずは、自らの人生を豊かにするために、ワーク・ライフ・バランスの必要性を認識し、意欲を持ってそれを実現することで、自分らしく生きることのできる男女共同参画社会につなげていきましょう。



新型コロナウイルス感染症の拡大によるDV被害増加

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、外出自粛や休業などが行われている中、生活不安・ストレスにより、配偶者等からの暴力（DV）の増加や深刻化が懸念されています。4月5日にアントニオ・グテーレス国連事務総長が発出したメッセージにおいても、DVの世界規模での急増について警鐘を鳴らし、各国政府に対応が求められました。女性の地位向上等をめざす国連の機関、UN Womenによると、フランスでは、3月17日に外出制限が始まってからDV被害が30%増加し、シンガポールではヘルプラインへの相談件数が33%増加したほか、アメリカやカナダ・イギリスになどでも被害拡大を受けてシェルターを要する声が高まっています。一方で、外出制限等により暴力をふるう相手も在宅をすることから、女性が支援を求めることが出来ないケースも相次ぎ、一時的にDV相談件数が減少している地域もあります。イタリアでは3月初めの2週間に寄せられた相談件数は55%減ったほか、フランス北部でも同様の傾向が見られました。

被害者が表に出ず、深刻化することも懸念されるため、電話だけでなくショートメッセージなどを通じて加害者に知られることなく相談できるオンライン窓口の拡充が求められています。

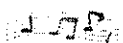
このような事態を受けて、DV相談体制が強化され、DV相談窓口が新たに設置されました。

【全国共通相談窓口】

DV相談+（プラス） 0120-279-889

24時間対応電話、SNS相談、多言語対応

はばたきセミナー第2講座を開催します！



身近にありませんか？このようなこと

再就職



お母さん、
また働きたいと
思っているんです。

お母さんと一緒にいることが
子どもにとって一番なのに。
子どもが可哀想。



家事



仕事と家事と育児で大変。
夫にも協力してほしい。

毎日残業で家事・育児の時間は
とれないよ。



育児休暇



育児休暇を取りたいのですが…

なんで？
育児は母親の仕事だろ。



妊娠・出産



妊娠検診を受けたいので
お休みを頂きたいのですが…

休むのは構わないけど、出産すると
フルタイムで働くのは厳しいだろうから
パートになるのはどうかな？



テーマ：『簡単！時短！家事ラク宣言！～ダン家事ってなんだろう～』



家事は分担するのではなく、減らす・シェアする時代。
簡単にできる時短家事のコツを楽しく学び、家事のストレスから解放され
ましょう！

日程：令和2年8月22日（土）午後1時30分～3時

場所：福知山市民ホール

（福知山市役所隣ハビネスふくちやま4階）

講師：三木智香 さん

（NPO法人 tadaimai代表・家事シェア研究者）

定員：180名

講師プロフィール

「家は家族にとって何より「自分らしくいられる居場所」であって欲しい」との想いから、
「10年後も“ただいま！”と帰りたい家庭」であふれた社会の実現をめざし、NPO 法人
tadaimaiを起業。元インテリアコーディネーターの経験を活かした講演を行う。

6・7月のお知らせ

要予約・相談無料・秘密厳守

女性相談

離婚・家庭・DVなど女性が抱えて
いる悩みならどんなことでも相談で
きます。

相談員：フェミニストカウンセラー

時間：①13時～②14時～③15時～

曜日：各日 木曜日

6月11日

6月25日

7月9日

7月30日

女性法律相談

離婚・別居・雇用などの問題から女性
の人権を守るために、法律相談を受け
てみませんか。

相談員：女性弁護士

時間：①13時～②13時45分～

③14時30分～④15時15分～

曜日：各日 水曜日

6月24日

7月29日

問合せ先

福知山市役所人権推進室 男女共同参画センター

〒620-0035 福知山市内記100番地

ハビネスふくちやま3階

TEL：0773-24-7022

はばたき



性の多様性を考えよう！

近年、「LGBT」や「SOGI」などといった言葉が広く使われています。この機会に自分自身も含めた性の多様性について考えてみましょう。
性のあり方は以下の4つの要素で構成されており、そのあらわれ方は十人十色です。

身体性：生まれながらの生物学的な性のこと。
心の性（性自認）：自分自身の性別をどのように認識しているか。
性的指向：どのような性別の人を好きになるか。
表現する性：服装やしぐさ、言葉づかいなど。
やわらかな物腰や、ユニセックスなファッションスタイルなど人それぞれです。



性的指向は、自分の意志で選び取るより、思春期などに「気づく」ことが多いです。同性を好きになる人や男女の両方を好きになる人も含まれます。また、「身体性」と「心の性」が一致せず、違和感を持つ人もいます。

「心の性」においても、「わたしは男と女の真ん中あたりにいる」「わたしは男でも女でもないと思う」「わたしは男か女か決められない・決めたくない」「わたしは男と女どちらも自分だと思う」などさまざまな人々がいます。

SOGI (ソジ/ソギ)

SOGIとは上にあげた4つの要素のうちの性的指向 (Sexual Orientation) と性自認 (Gender Identity) の頭文字をとっています。LGBTなどの性的少数者も、そうでない人も、誰もがSOGIという多様な性の中に生きているという考え方です。SOGIはすべての人に関わることなのです。

レインボーフラッグについて

女と男のふたつの性しかないという従来の考え方にとらわれず、みんなが虹のように境目がはっきりしないグラデーションになった、カラフルな色の中の1人であるという認識のもと、LGBTに限らず人の多様性を大切にするという思いを込めてデザインされました。

Lesbian レズビアン：女性の同性愛者（「心の性」が女性で恋愛対象も女性）
Gay ゲイ：男性の同性愛者（「心の性」が男性で恋愛対象も男性）
Bisexual バイセクシャル：両性愛者（恋愛対象が女性にも男性にも向いている）
Transgender トランスジェンダー：「身体性」と「心の性」が一致しないと感じる人



性的少数者に対する差別

LGBT当事者の意識調査（2016）※において、職場や学校での差別的発言を聞いたことがある当事者は71.7%となっています。また、実際に職場や学校でカミングアウトしている当事者は27.6%となっています。性的少数者に対する偏見や差別には以下のようなものがあります。

※出典：日本経済大学経済学部教授 日高孝晴さんによる「15064人を対象とした「LGBT当事者の意識調査」

- 「ホモ」「オカマ」「男らしくない」「女らしくない」などとかうこと
- 「どこがおかしいの？」「問題があるの？」「気持ち悪い」などのうざり話をされる
- 本人の了承なく、その人の性的指向や性自認について暴露する（アウティング）

LGBTの当事者の中には、自身の「心の性」や性的指向をカミングアウトすることによって、「自身を隠ることなく生きたい」と望む人が数多くいます。しかし、「カミングアウトすることによってこれまでの人間関係が崩壊してしまうのでは」「友人や職場の同僚から否定的な反応が来てくるのではないだろうか」と悩んで、カミングアウトすることができずいます。

職場や学校、地域でわたしたちにできることはなんだろう？

多様な性について知る

専門家や当事者から話を聞く、研修会を開催するなど、性的指向・性自認に関する知識を持つ機会を設ける。

習慣・常識を変える

身の回りの習慣や常識となっている考え方を今一度点検し、性的指向・性自認に関する差別やハラスメントにつながるものはないか、見直しが必要なものはないか、考える。

理解者を増やす

組織内に、性的指向・性的自認に関する知識を持つ理解者を増やす。「理解者・支援者」であることを目に見える形で行動すること（レインボーカラーを身につけるなど）によって、多様な性の理解者であることを意思表示し、理解の輪を広げる。
家庭、学校、職場の中で当事者が「自分の居場所がある」と実感できる機会を増やしていくことがとても大切です。たとえ一人でも、きちんと気持ちを受けて止めてくれる人や安心感をあたえてくれる人がいれば、前向きな気持ちが生まれるものです。

性（セクシュアリティ）は多様です。そして、個人の尊厳にかかわる大切な問題です。性の多様性について市民全体が理解を進めていく必要があります。

参考文献：浜崎人権機関



心の性や性的指向について知ることができたでしょうか。
そこで質問です。あなたはこういった場面にあったことはありませんか？

【場面1】彼氏ってどんな人？

A子「B子、恋人ができてって聞いたよ〜。彼氏ってどんな人なの？」
B子「・・・」

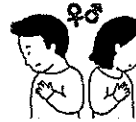


解説

恋愛対象は異性だけとは限りません。あなたは男性が好きですか？女性が好きですか？それとも好きになる人の性別にはこだわりませんか？
女性の恋人は「彼氏」、男性の恋人は「彼女」と想定されがちですが、異性を好きになる人だけでなく、同性や両性を好きになる人もいます。あるいは、そもそも恋愛感情を抱かない人もいます。

【場面2】女っぽくてキモくない？

O子「Aくんって女っぽくてキモくない？」
D子「・・・」

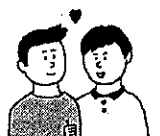


解説

性的少数者の割合についてはさまざまな調査結果がありますが、もしかするとあなたの身近な人が、差別的な言動に傷ついている可能性があります。差別的な言動を見かけた時には、「そういうの、よくないよ」と一言伝えてみませんか？みんなと一緒に笑わない、同調しないというだけでなく、よくないことを毅然と指摘する勇気も時には必要ではないでしょうか。

【場面3】アウティング

A男「Cからゲイだって打ち明けられたんだ。
ほかのやつには言うなよ！」
B男「・・・」



解説

本人の許可なく、性的少数者であることを他人に暴露することを「アウティング」といいます。軽い気持ちや面白半分アウティングをしてしまったり、性的少数者であると打ち明けられたことを受け止めきれずに、つい他の人に話してしまう場合もあります。しかし、自分のセクシュアリティを他人に知られたくない当事者にとってアウティングは重大な人権侵害です。本人の了解なしに、決して他人には話さないようにしましょう。

豆知識

SOGIハラスメント (SOGIハラ)：SOGI (性的指向・性自認) などに関連する差別やいじめ、嫌がらせをさします。日常生活におけるあらゆる場所で誰にでも起こりえる問題であると認識することが必要です。

女性活躍推進セミナー（女性社員向け研修）【全2回講座】のご案内

テーマ：「わたしの素敵なキャリアの描きかた〜探求！私にとっての働く価値〜」



講師：井本 七瀬さん（キャリアコンサルタント）

「仕事」と「プライベート」両方あきらめないからうまくいく！
井本さん自身のロールモデルも盛りだくさん！輝く未来に向けて「わたし」だけのキャリアを描いてみませんか。

日時：第1回 令和2年10月7日（水）

第2回 令和2年10月19日（月）

全て 午後1時〜午後3時

場所：男女共同参画センター 会議室1（ハビネスふくちやま3階）

定員：40名 概ね3年目以上の女性社員

参加：要申込

保育：あり 要申込

締切：参加・保育ともに令和2年9月23日（水）まで

専門相談

性別にこだわらない相談

職場・パートナーとの関係・生き方などあなたの性別にこだわらず相談していただけます。

相談員：専門のカウンセラー

時間：①13時〜②14時〜③15時〜

曜日：木曜日

11月26日

女性相談

離婚・家庭・DVなど女性が抱えている悩みならどんなことでも相談できます。

相談員：女性問題専門カウンセラー

時間：①13時〜②14時〜③15時〜

曜日：各日 木曜日

9月17日 10月1日

10月15日 10月29日

11月12日 11月26日

要予約・相談無料・秘密厳守

女性法律相談

離婚・別居・雇用などの問題から女性の権利を守るために、法律相談を受けてみませんか。

相談員：女性弁護士

時間：①13時〜②13時45分〜

③14時30分〜④15時15分〜

曜日：各日 水曜日

9月30日 10月28日 11月25日

問合せ先

福岡山形市役所人権推進課 男女共同参画センター

〒620-0035 福岡山形市学内2 100番地

ハビネスふくちやま3階

TEL: 0773-24-7022



はばたき



11月12日～11月25日「女性に対する暴力をなくす運動」期間

毎年、11月12日～11月25日の2週間は、「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。暴力はその対象の性別や加害者・被害者の関係に関わらず、決して許されるものではありません。特に、配偶者等からの暴力、性犯罪・性暴力、セクシュアル・ハラスメント等、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものです。今年は「性暴力をなくそう」をテーマに運動を行います。

性犯罪・性暴力

いつ、どこで、だれと、どのような性的な関係を持つかは、あなたが決めることができます。望まない性的な行為は、性暴力にあたります。性暴力は、年齢・性別に関わらず起こり、心身や学校や仕事はもちろんその後の生活にも深刻な影響を与えます。知っていますか？無理やりに行われ等々強要された女性は13人に1人です。被害を受けた女性の約6割はどこにも相談していません。男性が被害を受けるケースもあり、その中の約4割は相談をしていないのが現状です。相談をすると「大ごとになってしまう」「周りの人に迷惑をかけてしまう」などと不安になって、相談をためらってしまうことがあります。警察や性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップセンターなどの相談機関は、あなたの意思を尊重し、あなたの不安に寄り添って支援を進めます。プライバシーも守られるため、安心して相談できます。

性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター

全国共通番号 #8891(はやくワンストップ)
 各都道府県警察の性犯罪被害相談窓口 #8103(ハートさん)
 京都性暴力被害者ワンストップ相談支援センター 京都SARA (サラ)
 075-222-7711 (10:00～22:00 年中無休)

まずは
専門の相談機関へ

電話相談や面談、同行支援をします
 被害直後から中長期にわたり総合的な支援(医療的支援、相談・カウンセリング等心理的支援、捜査関連支援、法的支援など)を行います
 女性相談員が対応します
 被害を受けてから72時間以内であれば婦人科での緊急避妊の支援が受けられます
 保険証がなくとも匿名でも大丈夫です

DVの解決はひとりでは難しく、誰かの助けが必要です。私たちにできることは？

DVについて相談を受けたときに次のような対応をすると、さらにDV被害を深刻化したり、二次被害(DV被害者に対して不適切な対応をすることで生じるさらなる被害)につながります。

「子どももまだ小さいんだし、母親ならあなたがしっかりしないと、少しは我慢したらどう？」

NO!・・・暴力を受けることを我慢する必要はありません。また、子どもの前で暴力をふるうことは「面前DV」といい、子どもに対する心理的虐待となります。

「とりあえず、もう一度夫さんとよく話し合ってみよう」

NO!・・・話し合いはお互いが意見を言い合える関係においては有効であって、その関係に支配と暴力がないからこそできるものなのです。DVがある状況での話し合いは不可能です。

「殴られているわけじゃないんだし、愛されている筈じゃないの？」

NO!・・・殴るだけが暴力ではありません。友人や身内との付き合いを制限する、「お前を愛しているから心配なんだ」などと言い訳をして外出させない、スマホをチェックする、浮気を疑い激しく嫉妬をするなどは社会的暴力となります。

「あなたにも多少しも悪いところがあったんじゃない？」

NO!・・・どのような事情があっても、暴力をふるうことはあってはならないことです。暴力をうけた被害者が悪いということはありません。

暴力の中にいると孤独になるDV被害者が心まで支配されないため、人や社会とのつながりを持つことは非常に大切であり、あなたにもできることがあります。

警察相談専用電話「#9110(シャープきゅういちまるまる)」

「ただの夫婦喧嘩かもしれないし・・・関わったことで何があったらどうしよう」という理由で、何とかしてあげたいと思っていても行動ができないこともありますよね。警察では匿名でも受け付けてくれるため、名前を伏せて通報したり、通告した人の情報は、相談先の関係者以外に知られないことになっています。匿名でも構いませんので、行動を起こしてみてください。

「#9110」では、まだ事件は発生していない段階から利用でき、ストーカー・DV・悪質商法・生活している上で不安に感じていることなど多様な相談事に対応しています。

※電話をかけている地域を管轄する警察本部などに開設された警察総合相談室などにつながります。

あなたの大切な人が被害にあったら...

大切な人が被害に遭うと、家族や周囲の方もショックを受け、どのように対応して良いか分からなくなります。でも、皆さんは被害にあった方にとって、安心や信頼を与えることができる重要な方たちです。皆さんにできることがあります。

身近な人ができること

- 被害者の安全を確保してください
- 「あなたは悪くない」と繰り返し伝えてください
- 信じて話を聞いてください。気持ちを丁寧に聞き、そのまま受け止めてください
- 自身のこころからだにも気を配り、無理をしないでください
- 専門の相談機関に相談をすることをすすめてください

DV(ドメスティック・バイオレンス)

DVは「殴る」「蹴る」といった身体的暴力だけでなく、「怒鳴る」「無視する」などの精神的暴力、意に反する性行為の強要といった性的暴力などがあります。DVの被害者は加害者と親密な関係にあるため、加害者に罪の意識が薄く、当事者のみで解決しようとする傾向があり、被害者が第三者に相談しにくい状況もあります。さらにDVは外部から見えにくいという特徴があり、被害者自身がDVを受けていることに気付いていない場合には、DVがエスカレートし被害が深刻になることがあります。

このような状況を改善するためには、私たち一人ひとりがDVについての理解を深め、暴力を容認しない社会をつくるのが大切です。

夫婦喧嘩とDV(ドメスティック・バイオレンス)の違いを知りましょう

夫婦喧嘩

相手の あなた

横の関係で、同じ大きさのバウを
対等にやり取りできる(お互いに意
見が言い合える等)のが喧嘩です

DV

相手
あなた

上下主従の関係で、片方の立場が弱く、
物事の決定権が奪われているのがDVです

ひとりで悩まず相談してください

DV相談ナビ
 #8008(はれば)

悪質な配偶者暴力相談センターに繋がります

DV相談プラス
 0120-279-889(つながるはやく)
 電話・メール相談(24時間対応)
 チャット相談(12:00～22:00)

男女がともに考える
「はばたきセミナー」第3講座のご案内

『家族の中のDVや児童虐待 ～その背景と予防～』

講師：和田 のりあき さん(マジック/ババ)

日時：令和2年11月13日(金)
 午後1時30分～3時

場所：ハビネスふくちやま4階 市民ホール

参加：無料 予約不要
 定員：180名
 マスク着用の上ご参加ください

専門相談

要予約・相談無料・秘密厳守

女性相談
 離婚・家庭・DVなど女性が抱えている悩
 みならどんなことでも相談できます。
 相談員：女性問題専門カウンセラー
 時間：①13時～②14時～③15時～
 曜日：各日 木曜日

11月12日 11月26日
 12月10日 12月24日
 1月14日 1月28日
 2月18日

女性法律相談
 離婚・別居・雇用などの問題から女性の人権を
 守るために、法律相談を受けてみませんか。
 相談員：女性弁護士
 時間：①13時～②13時45分～
 ③14時30分～④15時15分～
 曜日：各日 水曜日

11月25日 1月27日

性別にこだわらない相談
 離婚・パートナーとの関係・生き方などあ
 なたの性別にこだわらず相談していただ
 けます。
 相談員：専門のカウンセラー
 時間：①13時～②14時～③15時～
 曜日：各日 木曜日

11月26日 2月18日

男性のための電話相談
 男性だから弱音を吐いてはいけないと思っ
 ていませんか。生き方や仕事など安心して
 相談してください。
 相談員：男性臨床心理士

11月9日(月) 17:30～19:00
 2月8日(月) 17:30～19:00

問合せ先
 福知山市人権推進室 男女共同参画センター
 〒620-0035 福知山市学野100番地
 ハビネスふくちやま3階
 TEL:0773-24-7022 Email:jinken@city.fukuchiyama.lg.jp

はばたき



3月1日～8日は女性の健康週間です

女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを総合的に支援するため、厚生労働省は毎年3月1日～8日を「女性の健康週間」と定めています。この機会に、自分の身体を見つめ、向き合ってみませんか。

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）を知ろう！

リプロダクティブ・ヘルス/ライツは、国連の国際人口開発会議（カイロ、1994年）で提唱された権利です。人々が安全で満ち足りた性生活を営むことができ、「子どもを持つ」「子どもを持たない」「何人持つか」を決める自由を持ち、そのための健康を享受できること、またそれに関する情報と手段を得ることができることが認められています。

男女共同参画において「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」が大切な理由

なぜ男女共同参画にリプロダクティブ・ヘルス/ライツが含まれるのでしょうか。この権利の起こりは、歴史的・社会的に女性が性生活や妊娠・出産、自身の健康に対して十分に権利を行使出来なかったことに由来しています。たとえば、戦時下の日本では、「産めよ、増やせよ」という人口政策や、「出産・育児は女性の役割」とされてきた社会的風潮により、性と生殖に関する個人の自己決定権は政治的・社会的に阻害されてきました。こうした時代を経て、1960年代以降、「性と生殖に関する健康は女子の基本的な人権である」とする運動が起こるようになりました。そのため、リプロダクティブ・ヘルス/ライツでは、性と生殖に関するジェンダー平等も謳われています。

自分で決め、自分を守ろう！

子どもを持つ？持たない？

パートナーとの間に子どもをもうけたいと思ったとき、パートナーとどう話し合えばよいでしょうか。20～30代は仕事とプライベートがともに充実し、自分の成長を感じるときです。いつ、何人、子どもを持つかは二人の将来に関わる大事なことです。

子どもを持つ・持たないを決めるのは、個人とカップル、それぞれの権利です。この自己決定権は、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの大切な要素です。親の意見や周囲の人がどう思うかにとられず、最終的に選ぶのは自分自身です。

予期せず妊娠したり、性感染症になってしまったら？

準備ができていないのに妊娠してしまったり、予備知識がないままに性感染症にかかってしまったらどうしますか？

医療や教育現場などでの啓発が進み、一般的な避妊方法や性感染症予防方法などが広く知られるようになってきました。しかしながら、望まない妊娠や性感染症はなくなっていません。

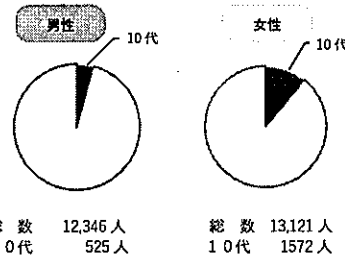
日本では、望まない妊娠による中絶は後を絶たず、年間約16万1700件行われています。10代では、年間1万3600件以上、40代では約1万6000件近隣の数字となっています。10代で妊娠した約8割が中絶をしています。また、最も数が多いとされる性感染症であるクラミジアは、10代の感染者も多く、感染した場合は自覚のないまま不妊の原因にもなるなどの危険があります。

望まない妊娠による中絶件数



約16万1700件

性感染症患者数（クラミジア）



出典：ILADY「FSRH DATA 実証！性に関わるデータ集」平成30年度調査

知識を得ることが大前提

妊娠や出産などについての自己決定権を行使するには、自分にどういった選択肢があるのかを知らなければなりません。リプロダクティブ・ヘルス/ライツでは、それらの情報と手段を得る権利も保障しています。

しかし、日本の性教育は世界と比べ遅れていると言われています。その背景には、性教育＝ポルノ・性行為といった誤解があります。どうしても学校や家庭で性について話題にしにくく、抵抗を感じる人も多くいます。その結果、十分な知識や方法が普及せず、それに対してアドバイスができる身近な人が限られてしまっているのが現状です。

いまこそおうちで性教育！

性教育は、子どもの心を健やかに育てるために大切なことです。本来の性教育は、いのち・からだ・健康の学問であり、これからの世の中を生きていく人格を育てるのに必須の教養・知性です。性教育のメリットは、♡自分も他人も大事にできる人間に育つ♡性的なトラブルを避けたり、対処できる人間に育つ♡自己肯定感の高い人間に育つ♡などたくさんあります。

多様な性を知るシリーズ

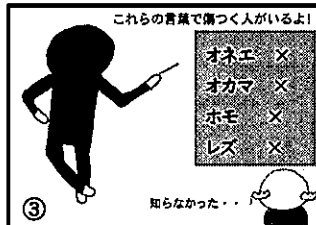


LGBTは遠い存在と誤ってない？

LGBTとは、L=レズビアン、G=ゲイ、B=バイセクシュアル、T=トランスジェンダーの頭文字です。性的マイノリティをあらわす代表的な言葉としても使われていますが、LGBT以外にもたくさんの性のあり方があります。

また、LGBTを自分のまわりにはいない、どこか知らないところにいる人の話だと思ってしまう人もいます。LGBTの人は、企業や研究所の調査では、日本の人口の約5%～8%程度とされています。おおよそ13人から20人に1人です。そう考えると、LGBTの人は、あなたの学校や職場、地域の人などの中にも存在する身近な問題であると思いませんか。

※2012年 全国高校生調査の結果は約5.2%
2015年 電通ダイバーシティラボ調査の結果は約7.6%
2016年 全国高校生調査の結果は約8.0%



「オネエ」「オカマ」「ホモ」「レズ」は人を傷つける言葉って知ってた？

テレビを見ていると、「オネエタレント」と呼ばれる人たちがバラエティ番組に出演し人気を集めています。こうしたタレントさんは、ときおり自分のことを「オネエだから」「オカマだから」と言っていることもあります。

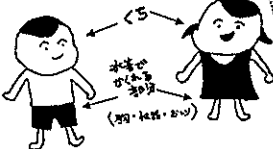
そうした場面を真似して、「オネエ」「オカマ」を使い、性のあり方をからかうことは、元々のつもりでも、その言葉を書かれた人や聞いた人の中には傷ついている人がいるかもしれません。性のあり方は、その人のアイデンティティであり、「どんなふうに住んでいくか」という人生のあり方にも関わることです。性のあり方をネタにからかったり、冗談を言ったりすることは、その人を否定することにも繋がります。

知らず知らずのうちに、「オカマ」などの言葉を使っている人もいます。多様な性について、知識を持ち、自分の中の偏見や思い込みをなくしていきましょう。

※書：「ふつう」ってなんだ？LGBTについて知る本（学研プラス）
はじめて学ぶLGBT（アツミ出版）

幼少期から教えておきたい基本の3つ

①性教育のはじめの一歩、プライベートゾーンを伝えよう
「からだは全部、その人のものだけど、特に口、胸、性器、おしり」の4つ（プライベートゾーン）はあなただけの大切なもの」と伝えることです。他人が勝手に触ったり触らせたりするのはいけないことだと幼少期からしっかりと教えることが大切です。



②身を守る声かけ「NO・GO・TELL」

「NO」=自分の身に怖いこと、不安なこと、嫌なことがあったらハッキリと拒否していい
「GO」=とにかく逃げろ
「TELL」=そんな出来事があったら、信頼できる大人に相談する

③タッチング&リスニング

タッチング&リスニングは、プライベートゾーンを避けて、いとおしいものとして子どもの身体に触れること、そして目を見て子どもの会話を耳を傾けることです。

若い世代が「性と生殖」に関する正確な知識を得て、より自分の決定権を高めるようになるには、大人世代がリプロダクティブ・ヘルス/ライツを語り合える環境を整えていくことが大切です。

参考：福知山市男女共同参画ニュース P-Life、おうちで性教育ははじめよう（角川）

専門相談

【要予約・相談無料・秘密厳守】

来年度も専門相談は引き続き実施します。日程が決まり次第、お知らせします！

女性相談

離婚・家庭・DVなど女性が抱えている悩みならどんなことでも相談できます。相談員：女性問題専門カウンセラー
時間：①13時～②14時～③15時～
曜日：各日 木曜日

3月11日 3月25日

女性法律相談

離婚・別居・雇用などの問題から女性の人権を守るために、法律相談を受けてみませんか。相談員：女性弁護士
時間：①13時～②13時45分～
③14時30分～④15時15分～
曜日：水曜日

3月24日

問合せ・ご予約

福知山市人権推進室 男女共同参画センター
ハビネスふくちやま 3階
TEL：0773-24-7022

【問合せ先】福知山市役所人権推進室 男女共同参画センター

T620-0035 福知山市学内12100番地 ハビネスふくちやま3階

TEL：0773-24-7022